

# 日本アイソトープ協会の学術活動

平成28年度

発行 公益社団法人 日本アイソトープ協会

## 目 次

1. 会員	1
1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）	1
1.2 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）	1
1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）	1
2. 部会・委員会	2
2.1 理工学部会	2
2.1.1 概要	2
2.1.2 第26期理工学部会	2
2.2 ライフサイエンス部会	4
2.2.1 概要	4
2.2.2 第26期ライフサイエンス部会	4
2.3 医学・薬学部会	6
2.3.1 概要	6
2.3.2 第26期医学・薬学部会	6
2.4 放射線安全取扱部会	9
2.4.1 概要	9
2.4.2 第29期放射線安全取扱部会	9
2.5 その他の委員会	12
2.6 講演会・見学会等	13
2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会	13
2.6.2 放射線安全取扱部会	16
2.6.3 NMCC共同利用委員会	18
3. 第53回アイソトープ・放射線研究発表会	18
4. 講習会	19
4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習	19
4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習	19
4.1.2 第3種放射線取扱主任者講習	19
4.1.3 放射線取扱主任者定期講習	20
4.1.4 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習	21
4.2 その他講習会	21
4.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会	21
4.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会	21
4.2.3 密封線源安全取扱講習会	21
4.2.4 第1種主任者育成講習会	22
4.2.5 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会	22

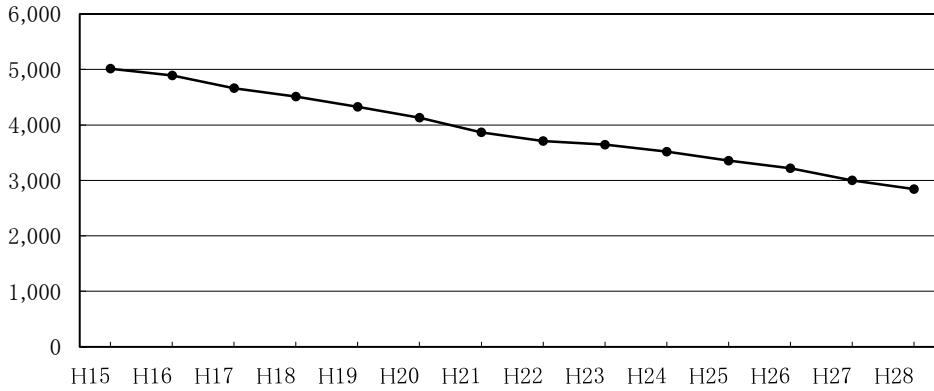
5. 図書等の発行	23
5.1 機関誌	23
5.1.1 Isotope News	23
5.1.2 RADIOISOTOPES	23
5.2 出版物等	24
6. 共同利用	24
6.1 仁科記念サイクロトロンセンター全国共同利用	24
7. 委託調査研究の受託実施	24
7.1 環境省委託事業	24
7.2 原子力規制庁委託事業	24
8. 普及・啓発	25
8.1 第20回(2016年)RADIOISOTOPES誌論文奨励賞	25
8.2 第53回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞	25
8.3 第26回滝沢研究所施設公開	25
8.4 武見記念館	25
8.5 第57回「科学技術週間」施設公開	25
8.6 公開講座	25
8.7 初等・中等における放射線教育に係る普及啓発活動	26
8.8 福島復興支援	26
8.9 看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング	26
8.10 放射線による医療をテーマとした市民向け講演会	26
8.11 その他の啓発活動	26
資料 部会活動の経過及び成果公表資料	27
1. 理工学部会	27
2. ライフサイエンス部会	34
3. 医学・薬学部会	37
4. 放射線安全取扱部会	46

# 1. 会員

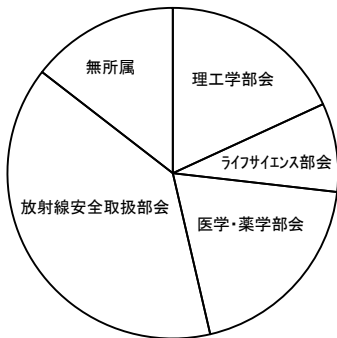
## 1.1 会員数の推移（会員種別、年度別）（各年度3月末日現在）\*学生会員：平成24年度新設

区分	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
個人正会員	4,441	4,307	4,100	3,914	3,733	3,526	3,270	3,103	3,017	2,864	2,693	2,538	2,330	2,177
団体正会員	249	242	234	239	240	240	229	225	226	220	217	217	210	204
特別会員	285	304	293	325	319	331	336	352	370	400	402	419	402	400
賛助会員	41	39	37	34	34	34	32	30	30	28	26	26	24	24
学生会員*	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	17	19	35	38
計	5,016	4,892	4,664	4,512	4,326	4,131	3,867	3,710	3,643	3,517	3,355	3,219	3,001	2,843

会員数の推移(団体、賛助、特別、学生会員含む)



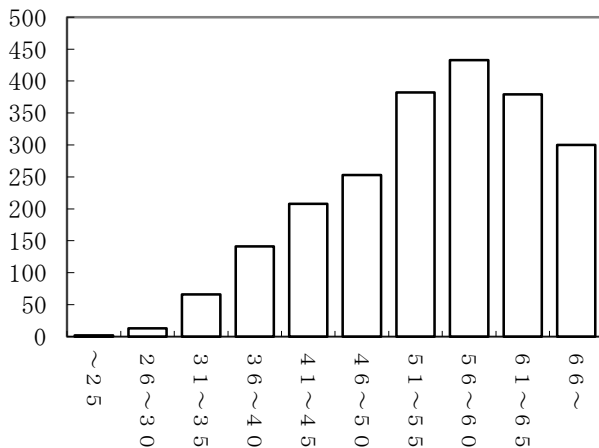
## 1.2 所属部会別会員数（団体、賛助、特別、学生会員含む）（平成29年3月末日現在）



理工学部会	836
ライフサイエンス部会	400
医学・薬学部会	901
放射線安全取扱部会	1,803
無所属	669
延 計	4,609

(注) 会員は複数の部会に所属できる

## 1.3 年齢階層別会員数（個人正会員のみ）（平成29年3月末日現在）



## 2. 部会・委員会\*

### 2.1 理工学部会

#### 2.1.1 概要

理工学部会ではアイソトープの理工学分野への利用に関する調査研究や部会員相互の研究連絡ならびに技術の向上に資するため、講演会、勉強会、見学会などを行うとともに、必要に応じ専門委員会を設けて、所要の調査・研究活動を実施しています。

#### 2.1.2 第26期理工学部会（任期：平成28年4月～平成30年3月）の構成

常任委員会		
理工学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	今泉 洋	新潟大学自然科学系(工学部)
副部会長	青山 道夫	福島大学環境放射能研究所
	藤浪 真紀	千葉大学大学院工学研究科
常任委員	井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科
	大石 晃嗣	(株)日本環境調査研究所
	神野 郁夫	京都大学大学院工学研究科
	鬼柳 善明	名古屋大学大学院工学研究科
	後藤 彰	特定国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センター
	酒井 宏隆	(株)東芝 府中事業所
	佐藤 泰	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
	柴田 裕実	大阪大学産業科学研究所
	高橋 浩之	東京大学大学院工学系研究科
	田川 精一	大阪大学産業科学研究所
	松原 昌平	(株)日立製作所
	保田 浩志	広島大学原爆放射線医科学研究所
	山本 匡吾	TPR(株)
	柚木 彰	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
	横田 涉	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所
	鷲尾 方一	早稲田大学理工学術院総合研究所

放射線防護機器専門委員会		
放射線施設における放射線防護用設備・機器の適切な使用に資するため、「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集し利用者の便に供する。		
委員長	保田 浩志	広島大学原爆放射線医科学研究所
委員	草尾 豊	(株)千代田テクノル
	古徳 純一	帝京大学医療技術学部
	野村 貴美	元東京大学
	桧野 良穂	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
	松原 昌平	(株)日立製作所
	武藤 利雄	(地独)東京都立産業技術研究センター

\*) 所属は平成29年3月現在

中性子応用専門委員会

発展の著しい中性子関連のいくつかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たにいくつかのテーマを加え研究調査を行う。

委員長	鬼柳 善明	名古屋大学大学院工学研究科
委員	岩瀬 謙二	茨城大学工学部
	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
	甲斐 哲也	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター
	兼松 学	東京理科大学理工学部
	加美山 隆	北海道大学大学院工学研究院
	齊藤 泰司	京都大学原子炉実験所
	篠原 武尚	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 J-PARCセンター
	竹谷 篤	特定国立研究開発法人理化学研究所
	竹中 信幸	神戸大学大学院工学研究科
	広田 克也	名古屋大学大学院理学研究科
	松嶋 卯月	岩手大学農学部
	松林 政仁	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
	持木 幸一	東京都市大学工学部

次世代スペクトル解析専門委員会

ゲルマニウム半導体検出器およびシンチレーション検出器で使用されているスペクトル解析の解析技術および使用されているソフトウェアの現状をレビューし、問題点や改善すべき点を抽出する。さらに、スペクトル解析技術について、日本国内および国外での新しい研究成果や技術開発をレビューする。得られた結果をもとに、次世代スペクトル解析ソフトウェアのあり方を議論し、ソフトウェア開発を行う。

委員長	青山 道夫	福島大学環境放射能研究所
委員	秋山 正和	(公財)日本分析センター
	浅井 雅人	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
	阿部 敬朗	セイコー・イージーアンドジー(株)
	佐藤 泰	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
	高野 直人	(株)スカラベ・コーポレーション
	高宮 幸一	京都大学原子炉実験所
	濱島 靖典	金沢大学環日本海域環境研究センター
	武藤 儀一	ミリオンテクノロジーズ・キャンベラ(株)
	山田 隆志	(株)アドフューテック
	石津 秀剛	(公社)日本アイソトープ協会

放射線利用若手理解促進専門委員会

学生や若年層に放射性同位体・放射線の有用性を訴求し、放射線理工学分野への人材供給、及び研究開発を含む放射線利用活動の活性化を図る。

委員長	佐藤 泰	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
委員	井口 哲夫	名古屋大学大学院工学研究科
	岡 壽崇	東北大学高度教養教育・学生支援機構(兼)大学院理学研究科
	木下 哲一	清水建設(株)技術研究所
	島添 健次	東京大学大学院工学系研究科
	富田 英生	名古屋大学大学院工学研究科
	服部 可奈子	(株)東芝 府中事業所
	宮下 英尚	(株)チャイルドドリーム
	山下 真一	東京大学大学院工学系研究科
	生井 沙織	(公社)日本アイソトープ協会

## 2.2 ライフサイエンス部会

### 2.2.1 概要

ライフサイエンス部会では、アイソトープのライフサイエンス分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを各専門委員会を中心に実施しています。

### 2.2.2 第26期ライフサイエンス部会（任期：平成28年4月～平成30年3月）の構成

<b>常任委員会</b> ライフサイエンス分野におけるR I・放射線の利用推進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	都筑 幹夫	東京薬科大学生命科学部
副部会長	小島 周二	東京理科大学薬学部
常任委員	島田 義也	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	東 順一	大阪大学大学院工学研究科
	稲波 修	北海道大学大学院獣医学研究科
	小林 奈通子	東京大学大学院農学生命科学研究科
	白岩 善博	筑波大学特命教授
	等々力 節子	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門
	夏堀 雅宏	北里大学獣医学部
	濱 健夫	筑波大学生命環境系
	府馬 正一	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	古川 純	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター／生命環境系
	本間 道夫	名古屋大学大学院理学研究科
山川 武夫	九州大学大学院農学研究院	

<b>企画専門委員会</b> ライフサイエンス部会の活動全般にわたる企画・立案、調整・運営について検討し、常任委員会に意見具申する。		
委員長	古川 純	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター／生命環境系
委員	石岡 典子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 高崎量子応用研究所
	柿沼 志津子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	朽津 和幸	東京理科大学工学部
	小島 周二	東京理科大学薬学部
	佐々木 徹	北里大学医療衛生学部
	高橋 昭久	群馬大学重粒子線医学研究センター
	田野井慶太郎	東京大学大学院農学生命科学研究科
	塚田 祥文	福島大学環境放射能研究所
	丹生谷 博	東京農工大学遺伝子実験施設
	本間 道夫	名古屋大学大学院理学研究科
	山田 一孝	麻布大学獣医学部

安定同位元素専門委員会

安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。

委員長	濱 健夫	筑波大学生命環境系
委員	足立 恭子	新日鉄住金化学(株)総合研究所
	石井 敏基	日本大学医学部
	折笠 敬	大陽日酸(株)メディカル事業本部
	風早 康平	特定国立研究開発法人産業技術総合研究所
	梶原 康宏	横浜薬科大学薬学部
	木庭 啓介	京都大学生態学研究センター
	高取 和彦	明治薬科大学薬学部
	田中 福代	国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業研究センター

薬学・薬理学研究専門委員会

薬学・薬理学研究分野におけるアイソトープ利用の促進を図るための諸活動を行う。

委員長	小島 周二	東京理科大学薬学部
委員	遠藤 朋宏	東京薬科大学薬学部
	加藤 真介	横浜薬科大学
	佐々木 徹	北里大学医療衛生学部
	平田 幸也	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所
	森田 裕子	慶應義塾大学薬学部
	吉田 浩子	東北大学大学院薬学研究科

下限数量以下の非密封R Iの安全取扱に関する専門委員会

下限数量以下の非密封放射性物質の利用促進に資するため、その安全かつ具体的使用方法に関する検討を行う。

委員長	都筑 幹夫	東京薬科大学生命科学部
委員	加藤 美砂子	お茶の水女子大学理学部生物学科
	小島 周二	東京理科大学薬学部
	佐藤 浩之	東邦大学理学部
	田野井慶太郎	東京大学大学院農学生命科学研究科
	反保 浩一	第一三共(株)品川研究開発センター
	古川 純	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター/生命環境系



## 2.3 医学・薬学部会

### 2.3.1 概要

医学・薬学部会では、アイソトープの医学、薬学分野への利用に伴う諸問題の調査研究、審議検討、連絡調整などを専門委員会を中心に実施しています。

### 2.3.2 第26期医学・薬学部会（任期：平成28年4月～平成30年3月）の構成

<b>常任委員会</b> 医学・薬学分野におけるR I・放射線の利用促進を図るため、専門委員会を中心に部会活動を効果的に運営する。		
部会長	本田 憲業	埼玉医科大学総合医療センター
副部会長	小泉 潔	東京医科大学八王子医療センター
常任委員	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	飯田 秀博	国立循環器病研究センター研究所
	伊藤 健吾	国立長寿医療研究センター
	大野 和子	京都医療科学大学医療科学部
	木田 哲生	滋賀医科大学医学部附属病院
	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域
	汲田 伸一郎	日本医科大学
	茂松 直之	慶應義塾大学医学部
	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター
	畑澤 順	大阪大学大学院医学研究科
	細野 眞	近畿大学高度先端総合医療センター
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光先端医学教育研究センター
	松田 博史	国立精神・神経医療研究センター
	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター

<b>企画専門委員会</b> 医学・薬学部会の活動全般にわたる企画・立案、調整・運営について検討し、常任委員会に意見具申する。		
委員長	小泉 潔	東京医科大学八王子医療センター
委員	荒野 泰	千葉大学
	伊丹 純	国立がん研究センター中央病院
	内山 眞幸	東京慈恵会医科大学
	織内 昇	福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター
	木田 哲生	滋賀医科大学医学部附属病院
	小泉 満	がん研有明病院
	中嶋 憲一	金沢大学医薬保健研究域
	藤井 博史	国立がん研究センター

放射性医薬品専門委員会 放射性医薬品の利用促進と施設内取扱いに関する検討を行う。		
委員長	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
委員	荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
	井上 修	大阪大学名誉教授
	小野口 昌久	金沢大学医薬保健研究域
	川井 恵一	金沢大学医薬保健研究域
	菊池 敬	北里大学病院
	藤林 靖久	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光先端医学教育研究センター
	丸野 廣大	虎の門病院
	安原 真人	東京医科歯科大学医学部附属病院

放射性医薬品安全性専門委員会 放射性医薬品の安全性確保に資するため、放射性医薬品副作用事例等の調査・検討を行う。		
委員長	松田 博史	国立精神・神経医療研究センター
委員	上原 知也	千葉大学大学院薬学研究院
	岡沢 秀彦	福井大学高エネルギー医学研究センター
	水村 直	東邦大学医療センター大森病院
	横山 邦彦	公立松任石川中央病院
	吉村 真奈	東京医科大学

ポジトロン核医学利用専門委員会 PET検査の臨床利用に関する検討を行う。		
委員長	伊藤 健吾	国立長寿医療研究センター
副委員長	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
委員	織内 昇	福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター
	佐々木 雅之	九州大学大学院医学研究院
	千田 道雄	先端医療センター
	玉木 長良	北海道大学大学院医学研究科
	外山 宏	藤田保健衛生大学医学部
	畑澤 順	大阪大学大学院医学系研究科
	藤林 靖久	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	細野 眞	近畿大学高度先端総合医療センター
	間賀田 泰寛	浜松医科大学光先端医学教育研究センター

放射線治療専門委員会 密封線源等による放射線治療に関する検討を行う。		
委員長	茂松 直之	慶応義塾大学医学部
副委員長	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター
委員	青木 学	東京慈恵会医科大学
	伊丹 純	国立がん研究センター中央病院
	宇野 隆	千葉大学大学院医学研究院
	穎川 晋	東京慈恵会医科大学
	斉藤 史郎	国立病院機構東京医療センター
	佐藤 威文	北里大学医学部
	土器屋 卓志	佐々木研究所附属杏雲堂病院
	中村 和正	浜松医科大学
	西村 哲夫	静岡県立静岡がんセンター
	橋本 光康	国際医療福祉大学
	萬 篤憲	国立病院機構東京医療センター

全国核医学診療実態調査専門委員会

5年毎に実施している「全国核医学診療実態調査」の第8回調査を平成29年6月に行い、取りまとめにあたる。

委員長	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域医学系
副委員長	西山 佳宏	香川大学医学部
委員	加藤 隆司	国立長寿医療研究センター
	萱野 大樹	金沢大学附属病院
	佐藤 修平	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科
	田代 学	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
	巽 光朗	大阪大学医学部附属病院
	橋本 禎介	獨協医科大学
	馬場 眞吾	九州大学大学院医学研究院
	平田 健司	北海道大学大学院医学研究科
	吉村 真奈	東京医科大学
	米山 寛人	金沢大学医学部附属病院

アイソトープ内用療法専門委員会

アイソトープの内用療法を効果的に推進するため、医療安全の確保を図る適正使用のガイドライン等の作成に資する検討を行う。

委員長	細野 眞	近畿大学高度先端総合医療センター
	委員 荒野 泰	千葉大学大学院薬学研究院
委員	江口 研二	帝京大学医学部
	遠藤 啓吾	京都医療科学大学
	小椋 美知則	東海中央病院
	絹谷 清剛	金沢大学医薬保健研究域医学系
	佐治 英郎	京都大学大学院薬学研究科
	茂松 直之	慶應義塾大学医学部
	飛内 賢正	国立がん研究センター中央病院
	成田 浩人	東京慈恵会医科大学附属病院
	西村 和郎	大阪府立成人病センター
	西山 佳宏	香川大学医学部
	山口 一郎	国立保健医療科学院
	横溝 晃	九州大学大学院医学研究院泌尿器科学分野
	渡邊 浩	横浜労災病院

## 2.4 放射線安全取扱部会

### 2.4.1 概要

放射線安全取扱部会では、アイソトープ・放射線に関する公共の安全・安心を確保するため、アイソトープ・放射線の安全取扱、管理について技術の向上と知識の普及・啓発を図ること、また、アイソトープ・放射線に関する国民の理解と放射線を取り扱う専門家への信頼を深めるため、放射線取扱主任者をはじめ放射線障害の防止に関する専門知識を有する者の育成と地位向上に努めるための諸活動を実施しています。

### 2.4.2 第29期放射線安全取扱部会（任期：平成28年4月～平成30年3月）の構成

本部運営委員会		
部会の目的を達成するため、その運営を円滑に推進するとともに支部間の連絡調整を行う。		
部会長	上 蓑 義朋	特定国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センター
副部会長	中 島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
本部運営委員	池 本 祐志	日本農薬(株)
	久 下 裕司	北海道大学アイソトープ総合センター
	渡 部 浩司	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
	井 上 浩義	慶應義塾大学医学部
	矢 永 誠人	静岡大学理学部
	矢 鋪 祐司	日本たばこ産業(株)
	小 野 俊朗	岡山大学自然生命科学研究支援開発センター
	杉 原 真司	九州大学アイソトープ統合安全管理センター
	梶 本 和義	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター

#### 【支部組織】

各支部は、放射線安全取扱部会細則の目的に則り、統括する地域の部会員を対象に支部活動を行う。

北海道支部委員会		
支部長	久 下 裕司	北海道大学アイソトープ総合センター
委 員	遠 藤 大二	酪農学園大学獣医学部
	大 内 健司	北海道電力(株)泊発電所
	安 原 優子	北海道大学大学院農学研究院
	吉 井 勇治	札幌医科大学教育研究機器センター

東北支部委員会		
支部長	渡 部 浩司	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター
委 員	阿 部 養悦	東北大学病院診療技術部
	河 津 賢澄	福島大学理工学部
	宍 戸 文男	東北放射線科学センター
	福 島 美智子	石巻専修大学理工学部
	森 山 竜也	日本原燃(株)

関東支部委員会		
支部長	井 上 浩義	慶應義塾大学医学部
委 員	飯 塚 裕幸	埼玉医科大学中央研究施設
	五十嵐 敏美	東京工業大学バイオ研究基盤支援総合センター
	泉 雅子	特定国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センター
	片 岡 賢英	慶應義塾大学医学部
	佐々木博之	(株)日本環境調査研究所
	佐 藤 斉	茨城県立医療大学保健医療学部
	高 橋 克彦	獨協医科大学RIセンター
	谷 川 勝至	東京大学大学院理学系研究科
	桧 垣 正吾	東京大学アイソトープ総合センター
	溝 口 真樹	(株)日立製作所
	八 木 直樹	新日鐵住金(株)

中部支部委員会

支 部 長	矢永 誠人	静岡大学 理学部
委 員	伊藤 由磨	名古屋市リハビリテーションセンター
	黒澤 俊人	三重大学生命科学研究支援センター
	小島 康明	名古屋大学アイソトープ総合センター
	小須田 誓	愛知医科大学医学部附属総合医学研究機構
	三嶋 淳二郎	(株)日立製作所
	三輪 美代子	岐阜大学生命科学総合研究支援センター
	森 哲也	福井大学 高エネルギー医学研究センター

近畿支部委員会

支 部 長	矢鋪 祐司	日本たばこ産業(株)医薬総合研究所
委 員	大熊 浩志	日本メジフィジックス(株)
	萱野 信二	(株)千代田テクノロ
	小山 由起子	滋賀医科大学実験実習支援センター
	鈴木 健二	(株)日本環境調査研究所
	竹村 貴志	ポニー工業(株)
	角山 雄一	京都大学環境安全保健機構
	古屋敷 守	医療法人仁泉会MIクリニック
	芳原 新也	近畿大学原子力研究所
	吉岡 潤子	大阪大学大学院

中国・四国支部委員会

支 部 長	小野 俊朗	岡山大学自然生命科学研究支援開発センター
委 員	稲田 晋宣	広島大学自然科学研究支援開発センター
	北 実	鳥取大学生命機能研究支援センター
	都留 忍	高知大学総合研究センター
	前田 志津子	広島国際大学薬学部
	三好 弘一	徳島大学アイソトープ総合センター

九州支部委員会

支 部 長	杉原 真司	九州大学アイソトープ統合安全管理センター
	岡島 敏浩	佐賀県立九州シンクロトロン光研究センター
委 員	奥野 浩二	長崎大学病院医療技術部
	川村 秀久	(一財)九州環境管理協会
	後藤 稔男	宮崎大学フロンティア科学実験総合センター
	澤 慎一郎	(株)日立製作所

【本部組織】

企画専門委員会		
部会の根幹を支え部会の事業および組織全般に関して、企画立案し、審議・推進する。		
委員長	中島 覚	広島大学自然科学研究支援開発センター
委員	飯本 武志	東京大学環境安全本部
	馬田 敏幸	産業医科大学アイソトープ研究センター
	垣下 典永	京都大学環境安全保健機構放射性同位元素総合センター
	久富木志郎	首都大学東京 R I 研究施設
	小崎 完	北海道大学大学院工学研究院
	齋藤 美希	弘前大学アイソトープ総合実験室
	高橋 郁子	名城大学薬学部
	中西 徹	就実大学大学院医療薬学研究科

広報専門委員会		
部会員相互のコミュニケーションと外部への広報活動を行い、部会員の資質向上と部会の地位向上に寄与する。		
委員長	池本 祐志	日本農薬(株)
委員	安中 博之	富士電機(株)
	大石 晃嗣	(株)日本環境調査研究所
	片岡 隆浩	岡山大学大学院保健学研究科
	廣田 昌大	信州大学基盤研究支援センター
	藤淵 俊王	九州大学大学院医学研究院
	宮本 昌明	神戸大学研究基盤センター
	吉田 浩子	東北大学大学院薬学研究科

法令検討専門委員会		
アイソトープの利用促進と適切な管理に資するため、法令に係る検討を行い、必要な提言を行うことを主務とする。		
委員長	梶本 和義	高エネルギー加速器研究機構放射線科学センター
委員	江田 正明	ゼリア新薬工業(株)中央研究所
	加藤 真介	横浜薬科大学薬学部
	反保 浩一	第一三共(株)品川研究開発センター
	仁神 鉄人	横河電機(株)
	山田 克典	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

## 2.5 その他の委員会

Isotope News編集委員会 Isotope Newsを編集、刊行する。		
委員長	小島 周二*	東京理科大学薬学部
委員	二ツ川 章二**	(公社)日本アイソトープ協会
	上蓑 義朋*	特定国立研究開発法人理化学研究所仁科加速器研究センター
	大石 晃嗣**	(株)日本環境調査研究所 事業本部
	對間 博之	茨城県立医療大学保健医療学部
	長谷川秀一	東京大学大学院工学系研究科
	古川 純	筑波大学アイソトープ環境動態研究センター／生命環境系
	丸野 廣大	虎の門病院
	王 冰	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所 放射線影響研究部

\*平成27年12月まで \*\*平成28年1月から

RADIOISOTOPES編集委員会 (任期：平成27年4月～平成29年3月) RADIOISOTOPESを編集、刊行する。		
委員長	下 道國	藤田保健衛生大学
副委員長	氏平 祐輔	東京大学名誉教授
委員	今泉 洋	新潟大学自然科学系(工学部)
	久保 謙哉	国際基督教大学
	酒井 一夫*	東京医療保健大学東が丘・立川看護学部
	柴田 徳思	東京大学名誉教授
	高橋 浩之	東京大学大学院工学系研究科
	田野井慶太郎	東京大学大学院農学生命科学研究科
	藤井 博史	国立がん研究センター
	藤浪 眞紀	千葉大学大学院工学研究科
	吉村 直奈*	東京医科大学

\*平成28年1月から

ICRP勧告翻訳検討委員会 (任期：平成28年4月～平成30年3月) 国際放射線防護委員会(ICRP)刊行物の日本語版の編集企画の検討を行う。下訳業者及び翻訳者の選定を行い、翻訳検討委員会による校閲とICRP国内メンバー等による監修を経て最終稿を決定し、ICRP刊行物「日本語版」を発行する。		
委員長	丹羽 太貫	ICRP主委員会、公益財団法人放射線影響研究所
副委員長	今村 恵子	前 聖マリアンナ医科大学放射線医学講座
委員	神田 玲子	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構 放射線医学総合研究所
	佐々木 道也	一般財団法人電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター
	佐々木 康人	湘南鎌倉総合病院附属臨床研究センター
	鈴木 元	国際医療福祉大学クリニック
	吉澤 道夫	国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所

NMCC共同利用委員会 (任期：平成28年10月～平成30年3月) NMCCの全国共同利用を円滑に推進する。		
委員長	小川 彰	岩手医科大学
委員	石井 慶造	東北放射線科学センター
	伊藤 伸彦	北里大学名誉教授
	岩田 錬	東北大学名誉教授
	江原 茂	岩手医科大学医学部
	小笠原 邦昭	岩手医科大学医学部
	織原 彦之丞	東北大学名誉教授
	小豆嶋 正典	岩手医科大学歯学部
	高橋 和眞	岩手県立大学看護学部
	寺山 靖夫	岩手医科大学医学部
	藤村 朗	岩手医科大学歯学部
	久保 敦司	(公社)日本アイソトープ協会

## 2.6 講演会・見学会等

### 2.6.1 理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
4・9	AP西新宿	講習会 第1回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会 1 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理 2 放射線安全管理 (法令、放射線測定を含む) 3 $\alpha$ 線内用療法の有効性 (臨床応用に関する基礎的事項) 4 臨床応用	医
5・14	国際ファッションセンタービル	講習会 第30回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会 1 臨床応用 2 読影・判定について 3 放射線安全管理－法令、届出事項及び退出基準について 4 放射線安全管理－放射線測定及び放射性廃棄物の安全管理について 5 放射線安全管理－内用療法用放射性医薬品の安全管理	医
5・22	品川フロントビル	講習会 第2回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
6・4	AP大阪駅前梅田1丁目	講習会 第3回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
6・25	SYDホール	講習会 2016年度I-131 (1, 110MBq) による残存甲状腺破壊 (アブレーション) の外来治療における適正使用に関する講習会 1 法令、届出事項及び退出基準 2 RI内用療法用放射性医薬品の安全管理 －医療従事者の被ばく防止並びに患者及び家族に対する指示事項について－ 3 放射線測定と放射性廃棄物の安全管理 4 臨床応用	医
7・7	東京大学 弥生講堂	理工学部会オープンセミナー 放射線温故知新 (講演) 「工業分析化学の周辺－『私のRI履歴書』の余話－」 氏平 祐輔氏 (東京大学名誉教授)	理



月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
7・8 ～7・9	東京大学農学部 フードサイエンス棟中島董一郎 記念ホール	平成28年度 放射線基礎セミナー 特別講義 「重力波天文学の幕開け」 教育講義 1 線量論への道案内 ：さまざまな線量の意味と線量評価の意義について 2 放射線の線量計測手法及び測定機器について ：線量計測法と装置について 3 診断・治療用途に用いる放射性核種の製造 ：放射線・RIを用いた診断・治療について 4 ポジトロン放出核種を利用する医療画像診断 ：放射線・RIを用いた診断・治療について	理 ラ
7・9	品川フロントビル	講習会 第4回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
7・30	SYDホール	講習会 第21回 有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム-89治療安全取扱講習会 1 放射線安全管理 (1)内用療法用放射性医薬品の安全管理 2 放射線安全管理 (2)法令、届出事項及び退出基準について 3 放射線安全管理 (3)放射線測定と放射性廃棄物の安全管理 4 臨床応用	医
9・3	秋葉原コンベンションホール	講習会 第5回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
9・10	AP東京八重洲通り	講習会 第6回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
10・29	国際ファッションセンタービル	講習会 第31回 イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の安全取扱講習会  内容は第30回 (5・14開催) に同じ	医
12・3	ベルサール三田	講習会 第7回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医
1・21	大手町サンケイプラザ	講習会 第8回 塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いたRI内用療法における適正使用に関する安全取扱講習会  内容は第1回 (4・9開催) に同じ	医

月・日	会場、場所	演題、見学施設等	主催
2・25	エッサム神田 ホール2号館	講習会 ヨウ素125シード線源による前立腺癌永久挿入密封小線源治療 および高線量率ラルス医療安全取扱講習会 1 子宮頸癌 2 前立腺癌 3 看護とケア 4 安全管理 5 線源取扱 6 物理QA	医

## 2.6.2 放射線安全取扱部会

### (1) 平成28年度放射線安全取扱部会年次大会（第57回放射線管理研修会）

月・日	会場、場所	演題等
11・10 ～11	鎌倉芸術館	部会総会 部会の活動報告・活動計画 特別講演Ⅰ（原子力規制委員会原子力規制庁） 「放射線安全管理行政の動向」 特別講演Ⅱ 「113番新元素(ニホニウム)の発見」 特別セッション 「高校生による放射線研究発表」 シンポジウムⅠ 「放射線利用の品質保証制度導入にむけて」 シンポジウムⅡ 「最先端のガン治療と研究」 ポスター発表 40題 機器展示、相談コーナー

### (2) 研修会、勉強会及び法定の教育訓練講習会等

#### ○北海道支部

月・日	会場、場所	演題等
4・24	北海道大学百年記念会館大会議室	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
7・21	社会医療法人禎心会札幌禎心会病院	社会医療法人禎心会札幌禎心会病院陽子線センター見学会
2・3	北海道大学アイソトープ総合センター5階	北海道地区大学等放射線施設協議会（主催：北海道大学アイソトープ総合センター 共催：（公社）日本アイソトープ協会放射線安全取扱部会北海道支部 後援：日本放射線安全管理学会）

#### ○東北支部

月・日	会場、場所	演題等
5・27	仙都会館 5階	教育訓練講習会（新規教育・再教育）（東北放射線科学センターと共催）
2・3	東北大学サイクロトロン・ラジオアイソトープセンター	放射線管理実務セミナー

#### ○関東支部

月・日	会場、場所	演題等
4・22	飯田橋レインボービル	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅰ（新規教育）
5・18	飯田橋レインボービル	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅱ（新規教育）
5・10	国際ファッションセンター-KFCホール	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅲ（再教育）
5・26	国際ファッションセンター-KFCホール	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅳ（再教育）
10・28	飯田橋レインボービル	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅴ（新規教育）
10・14	日本アイソトープ協会	教育訓練講習会－ラジオアイソトープの安全取扱Ⅵ（再教育）
11・10 ～11	鎌倉芸術館	平成28年度放射線安全取扱部会年次大会（第57回放射線管理研修会）

#### ○中部支部

月・日	会場、場所	演題等
5・13	名古屋商工会議所	教育訓練講習会（新規教育・再教育）（中部原子力懇談会と共催）
9・26	名古屋陽子線治療センター	施設見学会・交流会

○近畿支部

月・日	会場、場所	演題等
5・20	天満研修センター	教育訓練講習会Ⅰ（新規教育・再教育）
9・30	京都テルサ	教育訓練講習会Ⅱ（新規教育・再教育）

○中国・四国支部

月・日	会場、場所	演題等
5・13	岡山大学創立五十周年記念館	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
9・16	岡山大学自然生命科学 学研究支援センター	主任者研修会・交流会

○九州支部

月・日	会場、場所	演題等
4・12	福岡リーセントホテル	教育訓練講習会（新規教育・再教育）
11・25	宮日会館 10階	主任者研修会・交流会

(3) 講師派遣

事業所内教育訓練の依頼を請けて、全56講義において講師を派遣した。

### 2.6.3 NMCC共同利用委員会

#### 第22回 NMCC共同利用研究成果発表会

会 期	平成28年 5月13日～14日
会 場	岩手医科大学附属循環器医療センター
主 催	日本アイソトープ協会・岩手医科大学
特 別 講 演	「放射性医薬品の現状と今後に向けて」 柴田徳思（日本アイソトープ協会）
発 表 演 題	31件（PET：6件、PIXE：24件、薬剤・基礎：1件）
参 加 者	78名
報 文 集	NMCC共同利用研究成果報文集22（2015） CD-ROM版 平成28年12月発行

### 3. 第53回アイソトープ・放射線研究発表会

会 期	平成28年 7月 6日～ 8日
会 場	東京大学 弥生講堂
主 催	日本アイソトープ協会
共 催・協 賛	63学協会
特 別 講 演	・「水中の放射性セシウムモニタリング技術の精度評価試験と標準化について」 ・「大強度陽子加速器施設J-PARC—究極の物質像を求めて—」 ・「全反射高速陽電子回折（TRHEPD）：理想的な表面構造解析手法」 ・「半導体検出器の開く心臓イメージングの新展開」
パ ネ ル 討 論	・「低線量放射線の健康影響に関する国内関連学会における研究の現状とこれからの連携のあり方」 ・「放射線の生物影響に関して蓄積された知見とその社会的共有」 ・「北から南から福島を踏まえた放射線教育の全国展開IV—新しい中学校理科教科書による放射線授業を考える—」
研究発表件数	151件（口頭発表：117件、ポスター発表：34件）
要 旨 集	第53回アイソトープ・放射線研究発表会要旨集
参加登録者数	589名

（第53回アイソトープ・放射線研究発表会運営委員会）

#### 4. 講習会

##### 4.1 原子力規制委員会・厚生労働省登録講習

###### 4.1.1 第1種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第387回	平成28年 4月18日 ~ 4月22日	28名	28名
第388回	平成28年 6月13日 ~ 6月17日	23名	23名
第389回	平成28年 7月11日 ~ 7月15日	23名	23名
第390回	平成28年11月14日 ~ 11月18日	32名	32名
第391回	平成28年11月28日 ~ 12月 2日	20名	20名
第392回	平成28年12月12日 ~ 12月16日	25名	25名
第393回	平成29年 1月16日 ~ 1月20日	31名	31名
第394回	平成29年 1月30日 ~ 2月 3日	24名	24名
第395回	平成29年 2月13日 ~ 2月17日	23名	23名
第396回	平成29年 2月27日 ~ 3月 3日	27名	27名
第397回	平成29年 3月13日 ~ 3月17日	32名	32名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第2項に定める講習  
 対象 第1種放射線取扱主任者試験合格者で18歳以上の者  
 講習内容 (1) 放射線の基本的な安全管理に関する課目  
 (2) 放射性同位元素及び放射線発生装置並びに放射性汚染物の取扱いの実務に関する課目  
 (3) 使用施設等及び廃棄物詰替施設等の安全管理の実務に関する課目  
 (4) 放射線の量及び放射性同位元素による汚染の状況の測定の実務に関する課目  
 (5) 修了試験  
 会場 協会会議室及び実習室

###### 4.1.2 第3種放射線取扱主任者講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第22回	平成28年 6月30日 ~ 7月 1日	15名	15名
第23回	平成28年10月 6日 ~ 10月 7日	9名	9名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第35条第4項に定める講習  
 対象 18歳以上の者  
 講習内容 (1) 法に関する課目  
 (2) 放射線及び放射性同位元素の概論  
 (3) 放射線の人体に与える影響に関する課目  
 (4) 放射線の基本的な安全管理に関する課目  
 (5) 放射線の量の測定及びその実務に関する課目  
 (6) 修了試験  
 会場 協会会議室及び実習室

#### 4.1.3 放射線取扱主任者定期講習

回	開催地	開催日	受講者数	修了者数
使1601回	国際ファッションセンタービル (東京都墨田区)	平成28年 5月20日	44名	44名
販1601回			2名	2名
使1602回	飯田橋レインボービル (東京都新宿区)	平成28年 7月15日	39名	39名
販1602回			3名	3名
使1603回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成28年 8月19日	22名	22名
販1603回			3名	3名
使1604回	大阪大学ラジオアイソトープ総合センター (大阪府吹田市)	平成28年 9月 9日	15名	15名
販1604回			0名	0名
使1605回	北海道大学アイソトープ総合センター (北海道札幌市)	平成28年10月 7日	19名	19名
販1605回			0名	0名
使1606回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成28年10月25日	39名	39名
販1606回			3名	3名
使1607回	文部科学省研究交流センター (茨城県つくば市)	平成28年11月25日	23名	23名
販1607回			0名	0名
使1608回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成28年12月 9日	36名	36名
販1608回			2名	2名
使1609回	ピュアリティまきび (岡山県岡山市)	平成28年12月16日	21名	21名
販1609回			0名	0名
使1610回	名古屋商工会議所 (愛知県名古屋市)	平成29年 1月13日	14名	14名
販1610回			0名	0名
使1611回	仙都会館 (宮城県仙台市)	平成29年 1月27日	19名	19名
販1611回			0名	0名
使1612回	福岡リーセントホテル (福岡県福岡市)	平成29年 2月10日	15名	15名
販1612回			0名	0名
使1613回	大阪大学中之島センター (大阪府大阪市)	平成29年 2月24日	27名	27名
販1613回			0名	0名
使1614回	日本アイソトープ協会 (東京都文京区)	平成29年 3月10日	40名	40名
販1614回			1名	1名

備考：目的 「放射性同位元素等による放射線障害の防止に関する法律」第36条の2に定める講習

対象 (1) 下記事業所等の選任された放射線取扱主任者  
・許可届出使用者  
・届出販売業者、届出貨貸業者（表示付認証機器のみを販売又は賃貸する者並びに放射性同位元素等の運搬及び運搬の委託を行わない者を除く）  
(2) 選任された放射線取扱主任者以外の者で本講習の受講を希望する者

講習内容 (1) 法に関する課目  
(2) 放射性同位元素等の事故の事例に関する課目  
(3) 放射性同位元素等の取扱いに関する課目  
(4) 使用施設等の安全管理に関する課目

会場 上記の内、講習種別によって必要な課目を受講  
東京、大阪及び全国の各都市

#### 4.1.4 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習

回	会 期	受講者数	修了者数
第114回	平成28年 4月 7日 ～ 4月 8日	11名	11名
第115回	平成28年 8月 4日 ～ 8月 5日	29名	29名
第116回	平成28年10月27日 ～ 10月28日	37名	37名
第117回	平成29年 1月12日 ～ 1月13日	38名	38名

備考：目的 「作業環境測定士法」第5条に定める講習  
 対象 第1種作業環境測定士試験合格者又は作業環境測定士法第14条第3項により試験の全科目免除者  
 講習内容 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務  
 会場 協会会議室及び実習室

#### 4.2 その他講習会

##### 4.2.1 アイソトープ基礎技術入門講習会

回	会 期	受講者数
第85回	平成28年 5月18日 ～ 5月20日	27名

備考：目的 非密封アイソトープの安全取扱いにおいて必要な基礎入門的な知識及び実習を通じて安全取扱いの基本の習得  
 対象 特に新人教育向け  
 講習内容 講義：アイソトープの基礎、人体への影響、測定技術、管理技術、放射線障害防止法  
 実習：測定実習、取扱実習  
 会場 協会会議室及び実習室

##### 4.2.2 ラジオアイソトープ安全取扱講習会（第1種主任者受験のための集中セミナー）

回	会 期	受講者数
第45回	平成28年 5月30日 ～ 6月 3日	41名

備考：目的 第1種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ  
 対象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を要する技術者、主任者試験の受験を予定する者  
 講習内容 物理学、化学、生物学、測定技術、管理技術、放射線障害防止法  
 会場 協会会議室

##### 4.2.3 密封線源安全取扱講習会（第2種主任者受験のための集中セミナー）

回	会 期	受講者数
第58回	平成28年 6月 6日 ～ 6月 9日	38名

備考：目的 第2種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ  
 対象 密封線源取扱いについて基礎的な知識を要する技術者、主任者試験の受験を予定する者  
 講習内容 アイソトープの基礎、測定技術、管理技術、生物影響、放射線障害防止法  
 会場 協会会議室



4.2.4 第1種主任者育成講習会（第1種主任者受験のための直前セミナー）

回	会 期	受講者数
第21回	平成28年 7月25日～ 7月27日	33名

備考： 目 的 第1種放射線取扱主任者として要求されている知識の整理とまとめ  
 対 象 非密封ラジオアイソトープ取扱いについて基礎的な知識を復習する者、  
 主任者試験の受験を予定する者  
 講習内容 物理学、化学、生物学、放射線測定技術、放射線管理技術、放射線障害防止法  
 会 場 協会会議室

4.2.5 作業環境測定（放射性物質）のための準備講習会

回	会 期	受講者数
第11回	平成28年 4月 6日	7名
第12回	平成28年 8月 3日	17名
第13回	平成28年10月26日	7名
第14回	平成29年 1月11日	13名

備考： 目 的 サンプルングされた試料の放射能濃度を求めるための考え方と計算方法の習得  
 対 象 第1種作業環境測定士（放射性物質）講習を受講する者  
 講習内容 放射性物質取扱作業室の作業環境について行う分析の実務  
 会 場 協会会議室

5. 図書等の発行

5.1 機関誌

5.1.1 Isotope News (広報誌) (No. 744~749, 特別号No. 1) (Isotope News 編集委員会)

\*2017年4月号~隔月刊行に移行

5.1.2 RADIOISOTOPES (学術誌) (Vol. 65 No. 4~Vol. 66 No. 3) (RADIOISOTOPES 編集委員会)

総説一覧

表 題
ガンマ線スペクトル解析におけるピーク探査と面積計算実態と今後のスペクトル解析のあるべき姿 植物のNa <sup>+</sup> 排出過程—RIトレーサー実験による証明— 放射能高汚染水からの放射性物質の選択的除去および安定化処理 タウイメージングに期待される認知症診療における役割 ヒッグス粒子発見とその後の展開 宇宙を観測する新しい窓・重力波 ニュートリノスーパーカミオカンデを用いたニュートリノ観測と振動研究について—

連載講座

表 題
“ミュオン科学” リチウム電池の $\mu$ +SR研究 ミュオンによる地球内部観測 超伝導体の $\mu$ SR研究—銅酸化物高温超伝導体における磁性— “中性子散乱による原子・分子のダイナミクスの観測” III-5 無秩序系の低エネルギーダイナミクス VI 超伝導体, 金属磁性体等の磁気・格子ダイナミクス—強相関電子系を中心にして— VI-1 希土類金属系における電子自由度と磁気励起スペクトル VI-1-2 Mn酸化物の磁気ダイナミクス—二重交換相互作用と軌道秩序— VI-2 鉄系やNa <sub>x</sub> CoO <sub>2</sub> 水和物超伝導体の磁気・格子ダイナミクス VI-3 Y123系銅酸化物高温超伝導体の磁気・格子ダイナミクス VI-3-2 銅酸化物高温超伝導体のスピンダイナミクス—エネルギー階層的磁気励起構造の理解を目指し— VII 磁性と電気分極が強く結合したマルチフェロイック系のダイナミクス VIII J-PARC物質・生命科学実験施設の設計概念—緒言— VIII-1 J-PARC非弾性散乱装置の革新的計測方法 VIII-2 四季による固体のダイナミクス研究 VIII-3 J-PARCチョッパー分光器による非晶質・超イオン伝導体のダイナミクス研究 VIII-4 冷中性子ディスクチョッパー型分光器・AMATERASとそれによって行われる研究 VIII-5 高分解能チョッパー分光器による物質のダイナミクスの研究 VIII-6 DNA分光器による生体物質・機能性材料などのダイナミクス研究 IX 連載講座を終わるにあたって

## 5.2 出版物等

- ① 放射線を怖がらない看護職であるために 看護と放射線 ―放射線を正しく理解する―  
B5判 139ページ 1,800円+税
- ② 7版・2017増補版 放射線取扱の基礎【第1種放射線取扱主任者試験の要点】  
―平成26～28年 試験問題と解答例付き― B5判 593 ページ 4,700円+税
- ③ ICRP日本語版、Publ. 65～101（計22点）をICRPホームページにてPDF公開 \*1,\*2  
\*1 平成26年9月末、2011年以前発行分の図書・絶版に伴う公開。  
\*2 第4回公開。これ以前は以下のとおり。  
第1回（Publ. 60, 103, 109, 111の4点：平成26年6月）、第2回（Publ. 1～30-4の27点：  
平成27年6月）、第3回（Publ. 32～64の20点：平成28年8月）。
- ④ ICRP日本語版、Publ. 108, 115, 117, 118, 120, 122, SG2（計7点）をICRPホームページにてPDF公開 \*3  
\*3 平成29年3月末、新規リリース。PDF版のみ（非売品）。

## 6. 共同利用

### 6.1 仁科記念サイクロトロンセンター全国共同利用

		研究課題 (件)	割当回数 (回)	利用実績 (回)	備考
前 期	PET	6	62	48	検査数 85名
	PIXE	20	127	128	
	薬剤合成	2	12	12	
	合 計	28	201	188	
後 期	PET	7	66	58	検査数 62名
	PIXE	22	124	134	
	薬剤合成	2	12	9	
	合 計	31	202	201	
年度合計		59	403	389	

## 7. 委託調査研究の受託実施

### 7.1 環境省委託事業

環境省委託事業「平成28年度原子力災害影響調査等事業（福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業）」を受託し、個人モニター約3000人を対象に、全2回の個人被ばく線量測定を実施した。

### 7.2 原子力規制庁委託事業

- ① 原子力規制庁委託事業「平成28年度放射線対策委託費（品質保証制度の導入に向けた規制制度のあり方に関する調査）事業」を受託し、国内および海外の実態調査を行い、安全性向上のための課題及び規制制度の課題について調査を実施した。
- ② 原子力規制庁委託事業「平成28年度放射線対策委託費（放射線取扱主任者等における資質向上に関する調査）事業」を受託し、定期講習及び教育訓練の現状調査を行いより効果的な実施方法等を取りまとめた。また、新たに設けられる防護管理者等に必要とされる定期講習及び教育訓練について先行事例等を調査し必要となる講習内容等を取りまとめた。

## 8. 普及・啓発

### 8.1 第20回（2016年）RADIOISOTOPES誌論文奨励賞

受賞者 5名

### 8.2 第53回アイソトープ・放射線研究発表会 若手優秀講演賞

受賞者 10名

### 8.3 第26回滝沢研究所施設公開

日 時 9月 4日（日） 9:30～15:30

イベント 施設見学会（茅記念滝沢研究所・仁科記念サイクロトロンセンター・武見記念館）

講演会 盛岡薬剤師会理事 佐藤 誠志 先生

「みんなの薬の学校 ーくすりの正しい使い方ー」

施設見学会、無料健康相談、無料骨密度測定、毛髪分析、霧箱実演など

来場者 約1,200名

### 8.4 武見記念館

展示内容 現代医学展示

身のまわりのアイソトープ・放射線展示

人工臓器ロボット

武見太郎先生日本医師会会長在職中備品

放射線利用及び科学技術の発展に関するパネル、CD等の展示物

開館時間 10:00～16:00

（土・日・祝祭日、創立記念日（5月1日）、年末年始（12月29日～1月3日）を除く）

来館者数 311名

### 8.5 第57回「科学技術週間」施設公開

日 時 4月18日（月）～ 4月22日（金）

茅記念滝沢研究所（医療RI廃棄物処理施設）

仁科記念サイクロトロンセンター（サイクロトロン、PET、PIXEなどの研究施設）

武見記念館（現代医学およびRI利用に関する展示）

来場者 3名

### 8.6 公開講座

一般市民向けの公開講座

「市民のための公開講座・しゃべり場『食品照射を考える：鎖国状態から抜け出せるか？』」

日 時 7月 8日（金） 15:45～18:15

主催 食のコミュニケーション円卓会議

共催 日本食品照射研究協議会、（公社）日本アイソトープ協会

会場 東京大学弥生講堂（第53回アイソトープ・放射線研究発表会と同時開催）

8.7 初等・中等における放射線教育に係る普及啓発活動

初等・中等教育を担う教職員等を対象とした放射線教育のための研修会を4回実施した。  
日本理化学協会全国大会、全国中学校理科教育研究会において、研修会開催案内資料を配付した。  
放射線教育用線源 ( $^{133}\text{Ba}$  370kBq) を中学校・高等学校等に10回貸出しを行った。

8.8 福島復興支援

福島県民健康管理調査「甲状腺検査」出張説明会への協力  
福島県立医科大学が主催する県民健康管理調査「甲状腺検査」出張説明会に協力し、  
講師として医師を9会場に派遣した。

8.9 看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング

平成28年度に、「看護職の原子力・放射線教育トレーナーズトレーニング」と題した事業が、  
文部科学省「国際原子力人材育成イニシアティブ事業（原子力人材育成等推進事業補助金）」に  
3年計画で採択され、「トレーナーズトレーニング」（2回）、「保健師現任研修」（1回）を  
開催した。

8.10 放射線による医療をテーマとした市民向け講演会

内 容	市民講座「知って解消！がんの放射線治療、不安とギモン」 がんの治療方法選択や具体的な治療例について、専門の医師及び治療経験者による 一般向けの講演を行った。
日 時	2月25日（土） 13:30～16:00
会 場	TKPガーデンシティPREMIUM神保町
来 場 者	116名

8.11 その他の啓発活動

「川崎技術開発センター」建設地（川崎市川崎区殿町）において開催された「キングスカイフロン  
ト 夏の科学イベント2016」に参加し、近隣の小学生を対象にパネル展示等を通じて、放射線の  
正しい知識の理解のための啓発活動を行った。

資 料 部会活動の経過及び成果公表資料

1. 理工学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI装備機器調査専門委員会 〔昭和39年 4月～12月〕	○ 利用状況および問題点のアンケート調査 * 「放射性同位元素装備機器利用状況調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 3(1965)
ラジオグラフィ専門委員会 〔昭和39年 4月～43年 3月〕	○ $\gamma$ 線ラジオグラフィ利用状況アンケート調査 * 「わが国における $\gamma$ 線ラジオグラフィの利用状況」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965)
	○ 感光材料の問題点検討 * 「ラジオグラフィにおける圧力効果による“フィルムむら”について」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 14, No. 1(1965)
	○ ガンマ線ラジオグラフィ検査基準の確立および $^{192}\text{Ir}$ 線源国産化の検討
	日本原子力研究所、ラジオグラフィ使用事業所（8社）、照射機メーカー（4社）と数回にわたって試用共同実験
	* 以上の成果として、「ガンマ線ラジオグラフィ露出計算尺」作製（昭和41年10月。昭和48年実用新案登録）、「ガンマ線透過撮影法」（昭和43年3月刊行（1968））
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	○ 「RI理工学利用文献集」（昭和48年以前は「RI工業利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、理工文献題目集および理工文献紹介を掲載。
中性子水分計および $\gamma$ 線密度計専門委員会 〔昭和40年 2月～44年 5月〕	○ 水分計、密度計の安定性に関する共同実験（14事業所が参加） * 「中性子水分計およびガンマ線密度計の安定性に関する共同実験結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 16, No. 2(1967)
	○ 土の密度と含水量測定におけるRI法と在来法の比較共同実験
	○ 中性子水分計およびガンマ線密度測定法マニュアルの検討（未完結）
オートラジオグラフィ専門委員会 〔昭和42年10月～45年 5月〕	○ 金属オートラジオグラフィにおける感光材料の解像力に関する共同実験 * 「理工学におけるオートラジオグラフィの最近の研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 1(1970)
	* 「放射性銀試験体を用いたマイクロオートラジオグラフィの分解能に関する研究」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 19, No. 11(1970)
線源専門委員会 〔昭和43年 5月～44年 3月〕	○ 各種密封線源について利用開発上の問題点、検査法等について検討

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
環境汚染物質の放射化分析に関する専門委員会 〔昭和46年 9月～49年11月〕	○ 技術上の問題点，利用促進のための当面および将来の体制整備等に関する検討 * 「環境汚染物質の放射化分析における諸問題」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975)
硫黄分析計専門委員会 〔昭和46年 9月～52年 9月〕	○ 硫黄分析計利用状況アンケート調査 石油中重金属の測定値に及ぼす影響に関する共同実験，硫黄分測定照合実験（参加20機関） * 「RI式硫黄分析計による重油試料測定上の問題点 1. 放射線透過式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 11(1975) * 「（同上）2. 放射線励起式硫黄分析計」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 24, No. 12(1975) * 「（同上）3. 照合試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 2(1976) * 「JIS K2285-1978 石油製品放射線透過式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定） * 「JIS K2286-1978 石油製品放射線励起式硫黄分試験方法」原案の作成（昭和56年3月制定）
流れの測定に関する専門委員会 〔昭和46年10月～49年 3月〕	○ 野外および各種工程における気体、液体、粉体の流れ・拡散の測定へのRI利用測定技術について検討 * 「表面水流れ測定へのアイソトープの利用」、「化学反応装置内の流れの測定」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 25, No. 3(1976)
環境物質放射化分析専門委員会 〔昭和50年 1月～51年 1月〕	○ 利用状況アンケート調査 * 「放射化分析利用の手引き 環境調査と放射化分析一」（昭和51年5月）を自治体公害調査部門等へ配布 * 「環境物質の調査における放射化分析の利用状況」 Isotope News誌、昭和50年12月号(1975)
環境物質放射化分析マニュアル作成検討専門委員会 〔昭和51年 7月～52年 9月〕	○ 上記2専門委員会の活動成果に基づき、環境試料の放射化分析技術に関する手引書の作成について予備的検討 * 「放射化分析による環境調査—微量・多元素・同時分析の手法」（昭和54年3月刊行(1979)）
放射能標準体使用マニュアル作成専門委員会 〔昭和52年 2月～56年 7月〕	○ 各種の放射能標準体・標準線源の適正な使用に資する解説書の作成 * 「放射能標準体・標準線源とその使用法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 3～12(1979)、Vol. 29, No. 1(1980) 昭和56年5月単行書刊行(1981)
利用機器専門委員会 〔昭和53年 6月～57年 5月〕	○ 放射性同位元素装備機器管理基準に関する調査（科学技術庁委託） * 「JIS Z4821 1981 密封放射線源」原案を作成（昭和56年3月制定） * 「RI装備機器・設計承認制度について」 Isotope News誌、昭和56年5月号(1981)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
RI野外トレーサ利用専門委員会設立検討会 〔昭和58年 3月～ 9月〕  放射線防護機器専門委員会 〔昭和58年 6月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ RI野外トレーサ実験実施上の問題点を抽出し、野外トレーサ利用促進のための専門委員会作業の要否を明らかにし、専門委員会設置の要を報告</li> <li>○ 放射線防護機器に関する資料を収集・検討し、隔年毎に「放射線防護用設備・機器ガイド」を編集・発行。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「1982年版」 (昭和57年発行)</li> <li>* 「1984年版」 (昭和59年発行)</li> <li>* 「1986/87年版」 (昭和61年発行)</li> <li>* 「1988/89年版」 (昭和63年発行)</li> <li>* 「1990/91年版」 (平成2年発行)</li> <li>* 「1992/93年版」 (平成4年発行)</li> <li>* 「1994/95年版」 (平成6年発行)</li> <li>* 「1996/97年版」 (平成8年発行)</li> <li>* 「1998/99年版」 (平成10年発行)</li> <li>* 「2000/01年版」 (平成12年発行)</li> <li>* 「2002/03年版」 (平成14年発行)</li> <li>* 「2004/05年版」 (平成16年発行)</li> <li>* 「2006/07年版」 (平成18年発行)</li> <li>* 「2008/09年版」 (平成20年発行)</li> <li>* 「2010/11年版」 (平成22年発行)</li> <li>* 「2012/13年版」 (平成24年発行)</li> <li>* 「2014/15年版」 (平成26年発行)</li> <li>* 「2016/17年版」 (平成28年発行)</li> </ul> </li> </ul>
RI野外トレーサ実験調査委員会 〔昭和59年 4月～平成 2年 6月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ RI野外利用の実施を探るため、理工学、農学・生物学の分野で実験の実現が望まれている代表的なモデルについて検討を行うとともに科学技術庁と懇談、折衝。技術基準・安全基準の検討、アンケート調査の実施、講演会の開催               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「RI野外トレーサ利用アンケート集計結果報告」 Isotope News誌、昭和62年5月号“あいそとびつく”(1987)</li> <li>* 「放射性トレーサの野外・現場利用の歴史と現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 4～6(1988)</li> <li>* 「放射性トレーサの野外・現場利用推進上の問題点」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 6(1990)</li> </ul> </li> </ul>
密封放射線源JIS改訂専門委員会 〔昭和60年 4月～12月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「JIS Z4821密封放射線源」 (昭和56年3月制定) の見直し</li> </ul>
原子力用語JIS改訂専門委員会 〔昭和61年 8月～平成 4年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日本工業規格「JIS Z4001原子力用語」の改訂に当たり、「放射線・アイソトープ利用・防護」部門の用語について調査検討。</li> </ul>
理工分野における放射性廃棄物検討専門委員 〔平成 3年 9月～ 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「研究分野における放射性廃棄物の取扱い」 (平成6年5月刊行(1994))</li> </ul>



専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
微弱アイソトープ利用技術専門委員会 〔平成 4年 6月～10年 5月〕	○ 微弱アイソトープ利用の促進と安全性の確保について調査・検討 * 「IAEA安全シリーズ No.102、工業、医学、研究、教育分野におけるアイソトープの安全使用と規則に関する勧告の抄訳」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 3(1995) * 「微弱アイソトープの安全利用に関する調査研究報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 2～4(1999)
放射性同位体等の産業利用専門委員会 〔平成 7年 8月～12年 5月〕	○ 産業分野におけるRI利用技術の調査、許認可申請の標準化について検討を行った。 * 「RI・放射線の産業利用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 46, No. 5～10(1997) * 「放射性同位体等の産業利用専門委員会報告書」 (平成12年5月)
放射線教育専門委員会 〔平成7年 8月～16年 5月〕	○ 放射線教育入門テキスト〔ライフサイエンス分野編〕を編集し、テスト版として発行（平成10年3月）。  放射線教育入門テキスト〔医学・臨床分野編〕を（平成11年1月）編集し、テスト版として発行。
量子ビーム専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ ①新しい量子ビームの発生と利用、②半導体プロセスや医療への放射線利用、③量子ビーム利用に関する法規制の最適化等について検討を行うとともに、外部利用を受け付けるビーム利用施設の調査を行う。  * 「日本における研究用加速器施設の現状アンケートに関する中間報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 7(2003) * 「日本における研究用加速器施設の現状(2005)調査報告と量子ビーム利用の広がり」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 12(2005)
放射線イメージング専門委員会 〔平成12年 6月～平成18年 5月〕	○ 放射線イメージングの技術・学問内容について調査し、他のイメージング技術も参照しつつ、放射線イメージング技術の新しい方向について検討。 * 「放射線イメージング技術の最前線」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 10～Vol. 53, No. 6(2003～2004)
超低レベル放射能測定専門委員会 〔平成16年 9月～平成24年 5月〕	○ 通常の放射線計測技術では測定が困難あるいは検出が不可能な極微弱放射能の測定の重要性が増している現状を認識し、超低レベル放射能測定技術の発展と展望を探るために調査・検討を行う。 * 「超低レベル放射能測定の現状と展望」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 4～No. 11(2006)合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。 * 「液体シンチレーションカウンタによる測定の現状」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 2(2012)に掲載 (4題)

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>中性子イメージング専門委員会 〔平成17年 9月～平成22年 5月〕</p> <p>RI・放射線 一般向け教育実験ノート ワーキンググループ</p>	<p>○ 中性子ラジオグラフィの現状を認識し、その技術の発展と展望を探るための調査・検討を行う。</p> <p>* 「中性子イメージング技術の基礎と応用」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 4～Vol. 57, No. 5(2007～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p> <p>○ RI・放射線関係者以外の人達にRI・放射線、ひいては自然現象に対する理解を深めて貰うことに寄与するため、RI・放射線等に関する教育的実験についての情報を集め、取り纏めてIsotope News誌に掲載。このような実験を多くの場で取り入れてもらう一助とする。</p> <p>* 「RI・放射線 一般向け教育実験ノート」 Isotope News誌、平成18年4月号～平成19年5月号、平成20年3月号～5月号、7月号～12月号(2006～2008) 合本冊子を作成。協会ホームページに掲載。</p>
<p>中性子応用専門委員会 〔平成22年 6月～現在〕</p>	<p>○ 発展の著しい中性子関連の幾つかの先端技術の研究について、従来の中性子イメージングに加え、新たに幾つかのテーマを加え研究調査を行う。</p> <p>* 「パルス中性子を用いた分光的イメージング」 Isotope News誌、平成22年6月号“展望”(2010)</p> <p>* 「農林水産加工分野にひらける中性子イメージングの応用可能性」 Isotope News誌、平成23年2月号“展望”(2011)</p> <p>* 「中性子の産業利用(トライアルユース): 中性子ラジオグラフィ」 Isotope News誌、平成23年2月号“利用技術”(2011)</p> <p>* 「日本の小型加速器中性子源施設(中性子イメージング利用を中心に)」 Isotope News誌、平成26年1月号“利用技術”(2014)</p> <p>* 中性子イメージング研究の現在 「ナノ粒子合成のための超臨界水・常温水混合状態の中性子ラジオグラフィによる可視化」 Isotope News誌、平成26年5月号“展望”(2014)</p> <p>* 「コンクリートのイメージング」 Isotope News誌、平成26年6月号“展望”(2014)</p> <p>* 「軽元素局所構造解明のための原子分解能中性子ホログラフィー」 Isotope News誌、平成26年8月号“展望”(2014)</p> <p>* 「パルス中性子イメージングによる金属材料研究」 Isotope News誌、平成26年9月号“展望”(2014)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>中性子応用専門委員会 〔平成22年 6月～現在〕</p> <p>放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会 〔平成24年 6月～26年 3月〕</p>	<p>* 「植物イメージングの最近の話題」 Isotope News誌、平成26年10月号 “展望” (2014)</p> <p>* 「共鳴中性子イメージングの現状」 Isotope News誌、平成26年11月号 “展望” (2014)</p> <p>* 「パルス中性子用画像検出器の開発」 Isotope News誌、平成27年2月号 “展望” (2015)</p> <p>* 「中性子を用いた磁場の可視化技術」 Isotope News誌、平成27年4月号 “展望” (2015)</p> <p>* 「中性子ラジオグラフィを用いた熱交換器への着想の評価」 Isotope News誌、平成27年6月号 “展望” (2015)</p> <p>* 「パルス中性子ビームを用いたリチウムイオン二次電池の充放電反応の非破壊イメージング」 Isotope News誌、平成27年7月号 “展望” (2015)</p> <p>* 「通信品質を小型加速器中性子源が支える！—宇宙線による通信機器の誤動作を再現し、未然に防ぐためのソフトウェア試験技術—」 Isotope News誌、平成27年7月号 “展望” (2015)</p> <p>* 「中性子小角散乱による溶液中のタンパク質の構造解」 Isotope News誌、平成28年3月号 “展望” (2016)</p> <p>* 「J-PARCパルス中性子イメージング装置RADENの現状」 Isotope News誌、平成28年8月号 “展望” (2016)</p> <p>○ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、測定技術や除染技術等について現状を踏まえた情報の提供等を通じ、知識・技術の普及啓発に取り組む。検知・除染等の技術に係る研究開発の現状を紹介する記事企画をIsotope News誌に提供するほか、ワーキンググループを設置して放射線に関する基礎的知識の普及および食品等の放射能測定のための分析法の規格化に関する検討を行う。</p> <p>* 「面で捉える汚染分布の測定技術 —ファイバー検出器による放射性セシウムの測定—」 Isotope News誌、平成25年10月号 “TRACER” (2013)</p> <p>* 「CdTeを用いた放射能分布測定技術」 Isotope News誌、平成25年10月号 “TRACER” (2013)</p> <p>* 「臭化タリウム半導体検出器」 Isotope News誌、平成25年11月号 “TRACER” (2013)</p> <p>* 「原子炉事故におけるβ線被ばく」 Isotope News誌、平成25年11月号 “TRACER” (2013)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会 〔平成24年 6月～26年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「USB駆動型PSF空間線量当量率測定システムの実用化と測定実績」 Isotope News誌、平成25年12月号“TRACER” (2013)</li> <li>* 「福島第一原子力発電所近傍における放射能除染技術と除染の現状」 Isotope News誌、平成26年5月号“TRACER” (2014)</li> <li>* 「SPEEDI を真に原子力防災に生かすために」 Isotope News誌、平成26年9月号“TRACER” (2014)</li> </ul>
放射能測定・除染技術等に関する調査検討専門委員会 放射線に関する基礎的知識の普及ワーキンググループ 〔平成25年 2月～26年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 東京電力福島第一原子力発電所事故に関連して、放射線等に関する教育を受けていない一般の方を対象とし、主に放射性セシウムに重点を置いた、放射線・放射能に関する基礎的な知識の普及に係るテキストの作成を行う。</li> <li>* 「セシウムのABC」平成26年6月発行(2014)</li> <li>○ 東京電力福島第一原子力発電所事故後の食品中及び環境試料中の放射性セシウムの測定に関する状況を受け、シンチレーションスペクトロメータ（主にNaI(Tl) シンチレーションスペクトロメータ）を用いた測定法に関して、標準試料及び標準測定手順の規格化を行う。</li> <li>* 「NaI (Tl) シンチレーションスペクトロメータによるγ線スペクトロメトリガイドランス」 平成27年3月発行(2015)。協会ホームページに掲載。</li> </ul>
放射線理工学若手リーディングサークル 〔平成25年 6月～27年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 放射線・同位体理工学に関連した研究・技術開発や社会貢献のあり方など、この分野の若手を呼び込むインセンティブとなるような提案について自由に発想し、可能であれば具体化に向けた検討を行う。</li> </ul>
次世代スペクトル解析専門委員会 〔平成27年 4月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ゲルマニウム半導体検出器およびシンチレーション検出器で使用されているスペクトル解析の解析技術および使用されているソフトウェアの現状をレビューし、問題点や改善すべき点を抽出する。さらに、スペクトル解析技術について、日本国内および国外での新しい研究成果や技術開発をレビューする。得られた結果をもとに、次世代スペクトル解析ソフトウェアのあり方を議論し、ソフトウェア開発を行う。</li> <li>* 「ガンマ線スペクトル解析におけるピーク探査と面積計算実態と今後のスペクトル解析のあるべき姿」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 65, No. 6(2016)に掲載</li> </ul>
放射線利用若手理解促進専門委員会 〔平成28年 4月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学生や若年層に放射性同位体・放射線の有用性を訴求し、放射線理工分野への人材供給、及び研究開発を含む放射線利用活動の活性化を図る。</li> </ul>

2. ライフサイエンス部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
文献専門委員会 〔昭和39年 4月～平成 4年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「RI農学・生物学利用文献集」（昭和55年2月までは「RI農学・生物学利用文献抄録集」）の編集を行い、RADIOISOTOPES誌に毎号、農学・生物学文献題目集および農学・生物学文献トピックスを掲載。</li> </ul>
ラジオガスクロマトグラフィ専門委員会 〔昭和43年 3月～50年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 農学・生物学分野におけるラジオガスクロマトグラフィに関する技術の利用開発、普及について調査、検討。</li> </ul>
<sup>15</sup> N専門委員会 〔昭和48年 9月～51年 2月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内外の関係文献の調査と勉強会などを開催し、利用の知識・方法の普及を検討。 安定同位元素専門委員会へ発展的に改組。</li> </ul>
安定同位元素専門委員会 〔昭和51年 3月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 安定同位元素に関し、その研究・利用の全般的な推進に資する活動を行う。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 6～Vol. 57, No. 3、Vol. 57, No. 9(2007～2008)</li> <li>* 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 7, No. 11(2010)</li> <li>* 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 3(2012)、Vol. 62, No. 2、No. 4(2013)</li> <li>* 総説「安定同位体利用技術」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 63, No. 12(2014)、Vol. 64, No. 3(2015)、Vol. 64, No. 4(2015)、Vol. 64,</li> </ul> </li> </ul>
微量RIの管理に関する専門委員会 〔昭和48年 9月～57年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生化学分野における微量RIの使用施設の在り方、排水処理の方法、貯蔵・保管の方法、固体廃棄物・有機廃液の処理等の可能性について検討。</li> </ul>
遺伝子工学専門委員会 〔昭和61年10月～平成 4年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生物学関連の遺伝子工学分野におけるRI利用状況を調査               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「遺伝子工学実験講座」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 10～Vol. 38, No. 2, 4(1987～1989) 合本し、「遺伝子工学実験 Strategy &amp; Practice」として平成3年5月出版(1991)。</li> </ul> </li> </ul>
アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ RIをトレーサとして用いる研究用機器について、その原理、性能、特徴および適切な用途等の最新情報を収集し、公表した。               <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 10～No. 12、Vol. 43, No. 1(1993～1994)</li> <li>* 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第二シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8～No. 12、Vol. 45, No. 1～No. 2(1995～1996)</li> </ul> </li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>アイソトープトレーサ研究用機器専門委員会 〔平成 4年 6月～平成22年5月〕</p>	<p>* 「バイオサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第三シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11～No. 12、 Vol. 48, No. 1～No. 5, No. 7～No. 9, No. 11～No. 12 Vol. 49, No. 1～No. 2, No. 10～No. 12、 Vol. 50, No. 1～No. 2(1998～2001) 第一、第二シリーズの合本冊子を作成。 第三シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成14年2月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第四シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 3～No. 6、 Vol. 53, No. 3, Vol. 54, No. 1～No. 2, No. 7～No. 8(2003～2005) 第四シリーズを協会ホームページに掲載。 (平成17年9月)</p> <p>* 「ライフサイエンスのためのアイソトープ測定機器（第五シリーズ）」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 55, No. 7～No. 10、 Vol. 56, No. 3～No. 4, No. 9, Vol. 57, No. 2、 Vol. 58, No. 7 (2006～2009)</p>
<p>分子生物学分野のRI取扱専門委員会 (平成8年6月より、「ライフサイエンス分野のRI取扱専門委員会」に名称変更) 〔平成 4年 6月～平成14年 5月〕</p>	<p>○ 分子生物学分野（ライフサイエンス分野）におけるRI取扱上の諸問題について安全で円滑な利用を図るための調査、検討を行った。</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告」 Isotope News誌、平成6年9月号 “会員へのお知らせ” (1994)</p> <p>* 「分子生物学分野のRI取扱専門委員会報告 －「監督区域」設置の可能性を探るアンケートの結果－ “会員へのお知らせ” (1995)</p> <p>* 「ライフサイエンスの話題」 Isotope News誌、平成15年2月号～5月号(2003)</p>
<p>薬学・薬理学研究専門委員会 〔平成 6年11月～現在〕</p>	<p>○ 薬学・薬理学研究分野におけるRI利用の問題点を調査した。</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野のRI取扱いに関するアンケート結果－」 Isotope News誌、平成9年4月号 “会員へのお知らせ” (1997)</p> <p>* 「薬学・薬理学研究専門委員会報告－薬学・薬理学研究分野における放射線・放射能計測法に関するアンケート結果－」 Isotope News誌、平成11年11月号 “会員へのお知らせ” (1999)</p> <p>* 「RI計測のためのQ&amp;A」 協会ホームページに掲載。(平成17年7月)(2005)</p> <p>* 「マイクロドーズ試験の現状と展望」 Isotope News誌、平成20年4月号 “展望” (2008)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
獣医核医学専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕	○ 伴侶動物への核医学診療における諸問題の検討を行う。  * 「獣医核医学専門委員会 中間報告書」 (平成15年9月2日) (2003)
食品照射専門委員会 〔平成14年 6月～平成22年5月〕	○ 食品照射についての内外の情報を集め、調査・検討を行う。  * 「食品照射に関するQ&A」 協会ホームページに掲載。(平成20年11月) (2008)
下限数量以下の非密封R I の安全取扱に関する専門委員会 〔平成26年 5月～現在〕	○ 下限数量以下の非密封放射性物質の利用促進に資するため、その安全かつ具体的使用方法に関する検討を行う。  * 「使用許可を持たない施設における下限数量以下の非密封RIの使用に関する安全取扱マニュアル」 協会ホームページに掲載。(平成28年5月) (2016)

3. 医学・薬学部会

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>インビトロテスト専門委員会 〔昭和46年 9月～平成22年 5月〕</p>	<p>* 「RIインビトロ検査全国コントロールサーベイ」 (第1回～21回までRADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>* 「イムノアッセイ検査全国コントロールサーベイ」 (第22回より名称変更。RADIOISOTOPES誌に掲載)</p> <p>第1回 (1978年実施)、Vol. 29, No. 11 (1980)            第2回 (1979年実施)、Vol. 30, No. 1 (1981)            第3回 (1980年実施)、Vol. 31, No. 7 (1982)            第4回 (1982年実施)、Vol. 32, No. 6 (1983)            第5回 (1983年実施)、Vol. 32, No. 7, 8 (1983)            第6回 (1984年実施)、Vol. 34, No. 9 (1985)            第7回 (1985年実施)、Vol. 35, No. 10 (1986)            第8回 (1986年実施)、Vol. 36, No. 10 (1987)            第9回 (1987年実施)、Vol. 37, No. 11 (1988)            第10回 (1988年実施)、Vol. 38, No. 10 (1989)            第11回 (1989年実施)、Vol. 39, No. 10 (1990)            第12回 (1990年実施)、Vol. 40, No. 10 (1991)            第13回 (1991年実施)、Vol. 41, No. 11 (1992)            第14回 (1992年実施)、Vol. 42, No. 11 (1993)            第15回 (1993年実施)、Vol. 43, No. 10 (1994)            第16回 (1994年実施)、Vol. 44, No. 11 (1995)            第17回 (1995年実施)、Vol. 45, No. 11 (1996)            第18回 (1996年実施)、Vol. 46, No. 11 (1997)            第19回 (1997年実施)、Vol. 47, No. 11 (1998)            第20回 (1998年実施)、Vol. 48, No. 11 (1999)            第21回 (1999年実施)、Vol. 49, No. 10 (2000)            第22回 (2000年実施)、Vol. 50, No. 10 (2001)            第23回 (2001年実施)、Vol. 51, No. 10 (2002)            第24回 (2002年実施)、Vol. 52, No. 10 (2003)            第25回 (2003年実施)、Vol. 53, No. 10 (2004)            第26回 (2004年実施)、Vol. 54, No. 10 (2005)            第27回 (2005年実施)、Vol. 55, No. 10 (2006)            第28回 (2006年実施)、Vol. 56, No. 10 (2007)            第29回 (2007年実施)、Vol. 57, No. 10 (2008)            第30回 (2008年実施)、Vol. 58, No. 10 (2009)</p> <p>* 「The Large “Kit-to-Kit” Variation in Insulin Radioimmunoassay is Mainly Due to Defference in Standard Concentration」 CHEMISTRY, Vol. 28, No. 12</p> <p>* 「An Inter- and Intra-laboratory Quality-Control Survey of Radioimmunoassay of Insulin, Thyroxin, Thyrotropin, Cortisol, Digoxin, Gastrin, <math>\beta</math>2-Microglobulin and IgE in Japan with Commercially Available Kits」 CHEMISTRY, Vol. 29, No. 8</p> <p>* 「RIインビトロ検査の現状と問題点」 Isotope News誌、1992年2～3月号</p>



専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
放射性医薬品安全性専門委員会 〔昭和50年10月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、16巻3号(1979)</li> <li>* 「第2回放射性医薬品副作用事例調査報告」 核医学、18巻3号(1981)</li> <li>* 「放射性医薬品副作用事例調査報告」 (第3報～38報まで『核医学』に掲載) 第3報(19巻7号(1982))、第4報(20巻4号(1983)) 第5報(21巻3号(1984))、第6報(22巻4号(1985)) 第7報(23巻4号(1986))、第8報(24巻4号(1987)) 第9報(25巻4号(1988))、第10報(26巻4号(1989)) 第11報(28巻3号(1991))、第12報(28巻4号(1991)) 第13報(29巻3号(1992))、第14報(30巻5号(1993)) 第15報(31巻3号(1994))、第16報(32巻6号(1995)) 第17報(33巻6号(1996))、第18報(34号4号(1997)) 第19報(35巻3号(1998))、第20報(36巻3号(1999)) 第21報(37巻3号(2000))、第22報(38巻2号(2001)) 第23報(39巻1号(2002))、第24報(40巻1号(2003)) 第25報(41巻1号(2004))、第26報(42巻1号(2005)) 第27報(43巻1号(2006))、第28報(44巻1号(2007)) 第29報(45巻1号(2008))、第30報(46巻1号(2009)) 第31報(47巻1号(2010))、第32報(48巻1号(2011)) 第33報(49巻1号(2012))、第34報(50巻1号(2013)) 第35報(51巻1号(2014))、第36報(52巻1号(2015)) 第37報(53巻1号(2016))、第38報(54巻1号(2017))</li> <li>* 「放射性医薬品の副作用事例報告について—調査報告書における症例数と製薬会社が収集した自発症例数との比較—」 核医学、43巻4号(2006)</li> </ul>
核医学イメージング規格化小委員会 〔昭和51年 1月～昭和52年12月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「アンガー型シンチレーションカメラの性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 26, No. 10(1977)</li> </ul>
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 28, No. 11(1979)</li> <li>* 「シンチカメラ性能の定期点検に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 30, No. 7(1981)</li> <li>* 「キュリーメータの試験方法」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 4(1983)</li> <li>* 「Single Photon Emission Computed Tomography装置の性能試験条件」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 3(1984)</li> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1984改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)</li> <li>* 「SPECT像表示の規格化に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 8(1986)</li> <li>* 「核医学イメージングの規格化に関する勧告(1987年第2次改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 2～3(1988)</li> <li>* 「核医学イメージングのための小児への放射性医薬品投与量に関する勧告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 11(1988)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング規格化専門委員会 〔昭和53年 1月～平成 8年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「SPECT装置の回転軸ずれおよびイメージサイズ変動に関する日常試験」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 2(1990)</li> <li>* 「核医学イメージング装置の保守点検に関する実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 3(1992)</li> <li>* 「ガンマカメラによるデジタル画像の表示・記録に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 1(1994)</li> <li>* 「標準的な核医学イメージングプロトコール(1994年第3次改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994)</li> <li>* 「日常臨床における心臓核医学検査の選択に関する試案」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 3(1996)</li> </ul>
核医学技術専門委員会 (平成6年6月～8年5月まで核医学技術小委員会として核医学イメージング規格化専門委員会に置かれる) 〔昭和59年 6月～平成 6年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学検査室における機器および施設等の安全管理に関するアンケート調査結果」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 9(1987)</li> <li>* 「核医学検査室における機器及び施設等の安全管理に関するアンケート調査報告 第2報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 11(1990)</li> <li>* 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第3報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 3(1994)</li> <li>* 「キュリーメータの測定精度実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994)</li> </ul>
核医学イメージング・検査技術専門委員会 (平成8年より核医学イメージング規格化専門委員会と核医学技術小委員会が合併した) 〔平成 8年 6月～28年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学検査室における機器等の安全管理に関するアンケート調査報告 第4報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 45, No. 12(1996)</li> <li>* 「核医学画像と形態画像 (CT/MRI) の重ね合わせの現状と普及に向けての提案」 Isotope News誌、1997年11月号</li> <li>* 「デジタルガンマカメラおよびSPECT装置の定期点検」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 5(1998)</li> <li>* 「核医学の安全管理等に関するアンケート調査報告第5報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 8(1999)</li> <li>* 「全身イメージングにおける適正スキャン速度に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 7(2002)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第6報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 51, No. 8(2002)</li> <li>* 「核医学紹介シリーズ」(平成14年10月)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第7報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 54, No. 7(2005)</li> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第8報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 7(2008)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学イメージング・検査技術専門委員会 〔平成 8年 6月～28年 3月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告 第9報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 60, No. 7, 8(2011)</li> <li>* 「全国を対象とした『核医学検査における安全管理等に関するアンケート調査報告』第10報」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 63, No. 7(2014)</li> <li>* 「ドーズキャリブレーションの管理及び点検のマニュアル」(2016) 協会ホームページに掲載</li> <li>* 「PET装置の品質管理・品質保証に関するアンケート調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 61, No. 11(2012)</li> </ul>
医療放射線管理問題専門委員会 〔昭和53年 1月～57年 7月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「平均使用数量の導入による <math>^{11}\text{C}</math>、<math>^{13}\text{N}</math>、<math>^{15}\text{O}</math>、<math>^{18}\text{F}</math> の1日最大使用数量の求め方」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 31, No. 7(1982)</li> </ul>
核医学用語分類専門委員会 〔昭和53年 1月～59年11月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「医療行為の国際分類(ICPM)コード利用による全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 32, No. 9(1983)</li> </ul>
サイクロトロン核医学利用専門委員会 (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用専門委員会」に名称変更) 〔昭和56年 9月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「院内サイクロトロンにより製造される放射性薬剤の臨床利用について」 Isotope News誌、1983年9月号</li> <li>* 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指針：I 医療施設ないし医学研究施設内の加速器等で生産された超短寿命核種の臨床利用に関する指針、II 院内サイクロトロン放射性薬剤に関する指針、III 院内サイクロトロン放射性薬剤の臨床利用に関する指針、IV サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 34, No. 11(1985)</li> <li>* 「院内サイクロトロン放射性薬剤の前臨床段階における安全性の評価に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 35, No. 11(1986)</li> <li>* 「日本アイソトープ協会医学・薬学部会サイクロトロン核医学利用専門委員会において成熟技術として認定された放射性薬剤の基準と臨床使用に関する指針(続報I)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 37, No. 8(1988)</li> <li>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1990年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 40, No. 3(1991)</li> <li>* 「What is PET? “Q and A” —PETをよりよく理解するために—」</li> <li>* 「PET装置の性能評価のための測定指針(1992年4月)」</li> <li>* 「PET装置の性能評価のための測定指針(1994年6月改訂)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 9(1994)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>サイクロトロン核医学利用専門委員会  (平成17年11月より、「ポジトロン核医学利用  専門委員会」に名称変更)  〔昭和56年 9月～現在〕</p> <p>ポジトロン核医学利用専門委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1994年改定)」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 6(1995)</li> <li>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定)」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 12(1999)</li> <li>* 「PET薬剤製造施設基準」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000)</li> <li>* 「FDG-PET検査の臨床的有用性と医療経済効果に関する全国調査報告」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 49, No. 3(2000)</li> <li>* 「院内製造されたFDGを用いてPET検査を行うためのガイドライン」  核医学、38巻2号(2001)</li> <li>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</li> <li>* 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する解説」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</li> <li>* 「『サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2001年改定)』に関する参考資料」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 5(2001)</li> <li>* 「サイクロトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準と臨床使用の指針(1999年改定追補)」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 50, No. 7(2001)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告」  Isotope News誌、2003年11月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第2報」  Isotope News誌、2005年2月号</li> <li>* 「院内製造されたFDGを用いたPET検査を行うためのガイドライン 第2版」  核医学、42巻4号(2005)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第3報」  Isotope News誌、2006年10月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第4報」  Isotope News誌、2008年1月号</li> <li>* 「保険診療に認められていない悪性腫瘍(癌、肉腫)の診断における<sup>18</sup>F-FDG-PETの臨床的有用性—多施設アンケート調査による検討—」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 1(2008)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
ポジトロン核医学利用専門委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「PET用放射性医薬品の合成、分注、品質管理に携わる作業者の被ばく線量調査報告」 Isotope News誌、2008年10月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第5報」 Isotope News誌、2008年12月号</li> <li>* 「PET核医学におけるサイクロトロン施設からの漏えい線量等に係る検討ワーキンググループ報告書」(2009)</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する解説」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「『ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準(2009年改定)』に関する参考資料」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の臨床使用の指針(2009年改定)」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 58, No. 6(2009)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第6報」 Isotope News誌、2009年6月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第7報」 Isotope News誌、2010年7月号</li> <li>* 「ポジトロン核医学利用専門委員会が成熟技術として認定した放射性薬剤の基準」の今後のあり方について—「研究」と「診療」の境界を結ぶ— RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 9(2010)</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第8報」 Isotope News誌、2011年11月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第9報」 Isotope News誌、2012年5月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第10報」 Isotope News誌、2013年8月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第11報」 Isotope News誌、2014年6月号</li> <li>* 「PET検査に携わる人の被ばく状況に関するアンケート調査報告」 Isotope News誌、2015年3月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第12報」 Isotope News誌、2015年4月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第13報」 Isotope News誌、2016年3月号</li> <li>* 「PET検査件数に関するアンケート調査報告 第14報」 Isotope News誌、2017年2月号</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>薬学専門委員会  (平成6年より「放射性医薬品専門委員会」に  名称変更)  〔昭和44年 6月～平成 6年〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「放射性医薬品の最近の話題」 (RADIOISOTOPES誌講座合本)  RADIOISOTOPES誌、Vol. 33, No. 1～7(1984)</li> <li>* 「放射性医薬品の安全取扱と管理」  JJSHP、Vol. 26, No. 12 (1990)</li> </ul>
<p>放射性医薬品専門委員会  〔平成 6年 6月～現在〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「治療用放射性医薬品に関するアンケート調査報告」  Isotope News誌、1998年11月号</li> <li>* 「標識キット方式による<sup>99m</sup>Tc放射性医薬品の調製について」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 53, No. 3(2004)</li> <li>* 「薬による放射性医薬品の体内挙動の変化について」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 56, No. 1(2007)</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について」  Isotope News誌、2013年4月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(2)」  Isotope News誌、2014年5月号</li> <li>* 「放射性医薬品取扱いの基本に関するQA集」(2015)  協会ホームページに掲載</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(3)」  Isotope News誌、2015年11月号</li> <li>* 「国内未承認放射性医薬品の現状について(4)」  Isotope News誌、2017年2月号</li> </ul>
<p>放射線治療専門委員会  〔昭和57年 6月～平成 4年 5月、  平成12年 6月～現在〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「医療用密封小線源の管理(RADIOISOTOPES誌講座合本)」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 36, No. 2～6(1987)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(初版・第二版)(2003)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第三版)(2004)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第四版)(2005)</li> <li>* 「前立腺癌小線源療法後1年以内死亡時の対応マニュアル」(2008)</li> <li>* 「シード線源による前立腺永久挿入密封小線源治療の安全管理に関するガイドライン」(第五版)(2011)</li> <li>* 「シード線源永久挿入術後の前立腺摘出ガイドランス」(2014)</li> <li>* 「高線量率RALS安全取扱マニュアル」  RADIOISOTOPES誌、Vol. 48, No. 10(1999)</li> </ul>
<p>医療放射線管理専門委員会  〔平成 8年 9月～28年 3月〕</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 核医学診療施設における研究ボランティアの放射線被ばくの現状と今後の課題 —RIを投与する臨床研究または治験を受けるボランティアの被ばくに関するアンケート調査報告—  RADIOISOTOPES誌、Vol. 59, No. 11(2010)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
核医学診療実態調査専門委員会 (平成8年より「全国核医学診療実態調査専門委員会」に名称変更)	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第2回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 4(1989)</li> <li>* 「第3回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 42, No. 9～10(1993)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成 8年 6月～10年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第4回全国核医学診療実態調査報告」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 8(1998)</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成13年 9月～16年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第5回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 52, No. 8(2003)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: A report of the 5th nationwide survey in 2002 Annals of Nuclear Medicine Vol.18, No.1</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成18年10月～20年 5月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第6回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 57, No. 8(2008)</li> <li>* Nuclear medicine practice in Japan: a report of the sixth nationwide survey in 2007 Annals of Nuclear Medicine Vol.23, No.2</li> </ul>
全国核医学診療実態調査専門委員会 〔平成23年10月～25年 9月〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第7回全国核医学診療実態調査報告書」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 62, No. 8(2013)</li> <li>Nuclear medicine practice in Japan: a report of the seventh nationwide survey in 2012 Annals of Nuclear Medicine Vol.28(10)</li> </ul>
アイソトープ内用療法専門委員会 〔平成18年 5月～現在〕	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (初版) (2007)</li> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (第二版・第三版) (2008)</li> <li>* 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(初版) (2008)</li> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (第四版) (2009)</li> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (第四版第二刷) (2011)</li> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (第五版) (2013)</li> <li>* 「有痛性骨転移の疼痛治療における塩化ストロンチウム (Sr-89) 治療の適正使用マニュアル」 (第五版第二刷) (2015)</li> <li>* 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第二版) (2009)</li> <li>* 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第二版第二刷) (2011)</li> <li>* 「イットリウム-90標識抗CD20抗体を用いた放射免疫療法の適正使用マニュアル」(第三版) (2016)</li> <li>* 「塩化ラジウム (Ra-223) 注射液を用いる内用療法の適正使用マニュアル」(第一版) (2016)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
標識抗体医学利用専門委員会 〔昭和63年 4月～平成 3年 5月〕	* 「医学研究施設内で作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 39, No. 12(1990) 核医学、第28巻3号(1991) 日本医放会誌、第51巻5号(1991)
放射性医薬品施設内管理専門委員会 〔平成 1年10月～ 4年 5月〕	* 「放射性医薬品の施設内取扱に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 41, No. 2(1992)
免疫核医学専門委員会 〔平成 5年 7月～ 8年 5月〕	* 「遺伝子組換え技術を応用して作られたRI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 43, No. 8(1994) * 「RI標識モノクローナル抗体の臨床利用に関する指針」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 44, No. 8(1995)



4. 放射線安全取扱部会\*

\* 平成24年4月に、放射線取扱主任者部会より名称変更

4.1 組織改正以前（昭和34年12月～平成 4年 5月）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>東京常任委員会 〔昭和34年12月～平成 4年 5月〕</p>	<p>* Isotope News誌、No. 68～382「主任者コーナー」の編集（1960. 4～1992. 5）            * 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第5～36回）            Isotope News誌（1961～1992）            * 「放射線施設の火災対策」（1961）            * 「密封小線源の取扱」（1962）            * 「個人外部被ばくモニタリングの手引き」（1964）            * 「放射線管理実務マニュアルⅠ」（1983）            * 「放射線施設の火災・地震対策」（1985）            * 「外部被ばくモニタリング」（1986）            * 「千葉県東方沖地震状況調査」            Isotope News誌、1988年8月号            * 「千葉県東方沖地震状況調査」            RADIOISOTOPES誌、Vol. 38, No. 2（1989）            * 「改訂放射線管理実務マニュアルⅠ」（1989）            * 「放射線障害防止教育訓練用OHPシート」（1991）            * 「放射線管理実務マニュアルⅡ」（1991）            * 「現行法令の課題」（1992）</p>
<p>関西常任委員会 〔昭和36年 7月～平成 4年 5月〕</p>	<p>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第1～33回）            Isotope News誌（1961～1992）            * 「放射線とアイソトープ」（1962）</p>
<p>中部常任委員会 〔昭和55年 6月～平成 4年 5月〕            北海道地方委員 〔平成 2年 4月～平成 4年 5月〕            東北地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕            九州地方委員 〔昭和57年11月～平成 4年 5月〕</p>	
<p>基盤整備委員会 〔平成 2年11月～平成 3年 3月〕</p>	<p>* 「平成3年度主任者研修会（第32回部会総会）要旨集（補冊）」（1991）            基盤整備委員会報告書</p>
<p>新体制移行委員会 〔平成 3年 9月～平成 4年 3月〕</p>	

4.2 組織改正以後（平成 4年 6月～現在）

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>【本部組織】</p> <p>本部運営委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・企画専門委員会 (平成24年4月～企画委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・広報専門委員会 (平成24年4月～広報委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <p>・法令検討専門委員会 (平成24年4月～法令検討委員会より名称変更) 〔平成 4年 6月～現在〕</p>	<p>* 「主任者部会設立50周年資料集」 平成24年9月（2012）</p> <p>* 「東日本大震災放射線施設状況調査報告」 Isotope News誌、7月号、P. 61(2012)</p> <p>* 「熊本地震における放射線施設の状況調査報告」 Isotope News誌、2月号、P. 66(2017)</p> <p>* 「平成4年度主任者研修会（第33回部会総会）要旨集」（1992）</p> <p>* 「21世紀の主任者部会活動に向けて」（1996）</p> <p>* ニューメディア教育訓練用教材CD-ROM試作版（1999年8月）</p> <p>* 「消防機関における放射線教育研修についてのアンケート調査報告」Isotope News誌、12月号、P. 51(2016)</p> <p>* Isotope News誌、No. 383～749「主任者コーナー」の編集（1992.6～2017.2）</p> <p>* 「主任者ニュース」第1～第22号編集(1995～2016)</p> <p>* 「改訂3版 放射線管理実務マニュアルⅠ」 平成5年9月（1993）</p> <p>* 法令検討委員会報告（案）（現行法令の課題） （平成11年10月）</p> <p>* 法令検討委員会報告（現行法令の課題） 平成12年度主任者年次大会要旨集、2000、P. 223</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ&amp;A（1） Isotope News誌、6月号、P. 47(2001)</p> <p>* 法令改正への対応に際してのQ&amp;A（2） Isotope News誌、7月号、P. 50(2001)</p> <p>* Q&amp;A：BSS免除レベルの取り入れで法令はどう変わるのか Isotope News誌、11月号、P. 63(2003)</p> <p>* 法令検討委員会報告書「放射線取扱主任者のあり方」について Isotope News誌、7月号、P. 79(2004)</p> <p>* 改正法令に関するQ&amp;A：放射線障害防止法及び関係政省令等の改正について Isotope News誌、6月号、P. 45(2005)</p> <p>* 「事業主の責務と放射線取扱主任者のあり方について」 Isotope News誌、4月号、P. 76(2006)</p> <p>* 「放射性同位元素使用施設等で発生する廃棄物のクリアランスについての現状」 Isotope News誌、10月号、P. 11(2006)</p> <p>* クリアランスを巡る最近の動きについて ークリアランスの運用状況及びICRPの新勧告ー Isotope News誌、5月号、P. 64(2008)</p> <p>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、10月号、P. 63(2009)</p> <p>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、11月号、P. 50(2010)</p> <p>* 放射線管理Q&amp;A Isotope News誌、11月号、P. 57(2012)</p>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織化推進委員会 〔平成 8年 6月～平成14年 5月〕</li>   <li>・主任者部会－21世紀のあり方検討委員会 〔平成 8年11月～平成12年 5月〕</li>   <li>・放射線管理技術検討委員会 〔平成10年 4月～平成14年 5月〕</li>   <li>・製薬放射線委員会 〔平成10年 6月～平成12年 5月〕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「選任放射線取扱主任者のアンケート調査」結果報告 Isotope News誌、6月号、P. 53(2000)</li> <li>* 「組織化推進委員会活動報告」 Isotope News誌、7月号、P. 49(2002)</li>   <li>* 「主任者部会・21世紀のあり方」中間報告書 平成11年度主任者年次大会要旨集, 1999, P. 135</li> <li>* 「主任者部会・21世紀のあり方」報告書 (平成11年11月)</li>   <li>* 「放射線施設の遮蔽能力・放射性物質飛散率評価に関する調査研究(中間報告)」(1998)</li> <li>* 「放射線管理技術検討委員会活動報告」 Isotope News誌、10月号、P. 63(2002)</li>   <li>* 「ラジオアイソトープを用いた動物実験での文献調査—飛散率について—」 RADIOISOTOPES誌、Vol. 47, No. 11(1998)</li> </ul>
<p>【 支部組織 】</p> <p>北海道支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成11年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成19年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成26年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会</li> </ul> <p>東北支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 7年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成16年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成23年度主任者部会年次大会実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「北海道東方沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News誌、10月号、P. 79(1995)</li> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (生物学)</li> <li>* 「平成11年度主任者年次大会(第40回主任者研修会)要旨集」(1999)</li> <li>* 「平成19年度主任者部会年次大会(第48回放射線管理研修会)要旨集」(2007)</li> <li>* 「平成26年度放射線安全取扱部会年次大会(第55回放射線管理研修会)要旨集」(2014)</li>   <li>* 「三陸はるか沖地震放射線施設状況調査」 Isotope News誌、10月号、P. 74(1995)</li> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～61回) Isotope News誌(2013～2016) (物理学)</li> <li>* 「平成 7年度主任者年次大会(第36回主任者研修会)要旨集」(1995)</li> <li>* 「平成16年度主任者部会年次大会(第45回放射線管理研修会)要旨集」(2004)</li> <li>* 「平成23年度主任者部会年次大会(第52回放射線管理研修会)要旨集」(2011)</li> </ul>
<p>関東支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会(～2012)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第37～57回) Isotope News誌(1992～2012)</li> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 (第57～59回) Isotope News誌(2013～2016) (管理測定技術)</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
<p>関東支部委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成12年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成15年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成21年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成28年度主任者部会年次大会実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「平成12年度主任者年次大会（第41回主任者研修会）要旨集」（2000）</li> <li>* 「平成15年度主任者部会年次大会（第44回放射線管理研修会）要旨集」（2003）</li> <li>* 「平成21年度主任者部会年次大会（第50回放射線管理研修会）要旨集」（2009）</li> <li>* 「平成28年度主任者部会年次大会（第57回放射線管理研修会）要旨集」（2016）</li> </ul>
<p>中部支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会（～2012）</li> <li>・平成5年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成13年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成20年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成27年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第35, 49, 51～53回） Isotope News誌（1993, 2008, 2010～2012）</li> <li>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第54～58回）Isotope News誌（2013～2016）</li> <li>* 「平成5年度主任者年次大会（第34回主任者研修会）要旨集」（1993）</li> <li>* 「平成13年度主任者年次大会（第42回主任者研修会）要旨集」（2001）</li> <li>* 「平成20年度主任者部会年次大会（第49回放射線管理研修会）要旨集」（2008）</li> <li>* 「平成27年度放射線安全取扱部会年次大会（第56回放射線管理研修会）要旨集」（2015）</li> </ul>
<p>近畿支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2種放射線取扱主任者試験問題解答例作成委員会（～2012）</li> <li>・平成6年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成14年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成22年度主任者部会年次大会実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「阪神・淡路大震災の被災施設状況調査および救援活動報告」 Isotope News誌、4～8月号（1995）</li> <li>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第34, 36～53回） Isotope News誌（1992, 1994～2012）</li> <li>* 「第2種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第54～58回）Isotope News誌（2013～2016）</li> <li>* 「平成6年度主任者年次大会（第35回主任者研修会）要旨集」（1994）</li> <li>* 「平成14年度主任者年次大会（第43回主任者研修会）要旨集」（2002）</li> <li>* 「平成22年度主任者部会年次大会（第51回放射線管理研修会）要旨集」（2010）</li> </ul>
<p>中国・四国支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成9年度主任者年次大会実行委員会</li> <li>・平成17年度主任者部会年次大会実行委員会</li> <li>・平成24年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」（第57～61回）Isotope News誌（2013～2016）（法令）</li> <li>* 「平成9年度主任者年次大会（第38回主任者研修会）要旨集」（1997）</li> <li>* 「平成17年度主任者部会年次大会（第46回放射線管理研修会）要旨集」（2005）</li> <li>* 「平成24年度放射線安全取扱部会年次大会（第53回放射線管理研修会）要旨集」（2012）</li> </ul>

専門委員会・〔活動期間〕	摘 要
九州支部委員会 〔平成 4年 6月～現在〕 ・平成10年度主任者年次大会実行委員会 ・平成18年度主任者部会年次大会実行委員会 ・平成25年度放射線安全取扱部会年次大会実行委員会	＊ 「第1種放射線取扱主任者試験問題と解答例」 （第57～61回）Isotope News誌(2013～2016)（化学） ＊ 「平成10年度主任者年次大会（第39回主任者研修会）要旨集」（1998） ＊ 「平成18年度主任者部会年次大会（第47回放射線管理研修会）要旨集」（2006） ＊ 「平成25年度放射線安全取扱部会年次大会（第54回放射線管理研修会）要旨集」（2013）

## 事務局組織

### 学術振興部

学術課 TEL (03)5395-8081、(03)5395-8082 FAX (03)5395-8053

- ・理工学部会、ライフサイエンス部会、医学・薬学部会、放射線安全取扱部会事務局
- ・アイソトープ・放射線研究発表会事務局
- ・放射線取扱主任者定期講習【原子力規制委員会登録】

研修課 TEL (03)5395-8083 FAX (03)5395-8053

- ・第1種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第3種放射線取扱主任者講習【原子力規制委員会登録】
- ・第1種作業環境測定士（放射性物質）講習【厚生労働省登録】
- ・アイソトープ基礎技術入門講習
- ・その他講習会の事務窓口

### 企画部

広報課 TEL (03)5395-8035 FAX (03)5395-5652

- ・Isotope News誌の編集・刊行
- ・RADIOISOTOPES誌の編集・発行
- ・一般向け・専門向け出版物、ICRP勧告日本語版の編集・発行
- ・教育用DVDの編集
- ・輸送標識の頒布
- ・放射線を業として取り扱ったことのない人を対象とした講習会への講師派遣

滝沢研究所 TEL (019)688-1811 FAX (019)688-1813

- ・サイクロトロンセンターの共同利用（仁科記念サイクロトロンセンター）  
（PIXE分析、PETの利用）
- ・RI利用、医学利用展示（武見記念館）

本資料の発行及び問い合わせ先  
(公社) 日本アイソトープ協会学術振興部  
〒113-8941 東京都文京区本駒込2-28-45  
TEL (03) 5395-8081 FAX (03) 5395-8053